

1. 件名：志賀原子力発電所2号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（68）

2. 日時：令和5年5月10日（水）13時30分～16時40分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：野田企画調査官、海田主任安全審査官、原田安全審査専門職、大井安全審査専門職

北陸電力株式会社：藤田執行役員 他8名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<本年4月27日受取済>

・志賀原子力発電所2号炉 敷地周辺の地質・地質構造について
敷地近傍の断層の評価（コメント回答）

・志賀原子力発電所2号炉 敷地周辺の地質・地質構造について
補足資料

<本年3月22日受取済>

・志賀原子力発電所2号炉 敷地周辺の地質・地質構造について
データ集1（空中写真・ボーリング柱状図・ボーリングコア写真・BH
TV）

時間	自動文字起こし結果
00:00:03	はい。
00:00:03	お疲れ様です原子力規制庁の大井です。
00:00:06	それでは時間になりましたので北陸電力とのヒアリングを開始したいと思います。本日は志賀原子力発電所 2 号炉敷地周辺の地質地質構造について、敷地近傍断層の評価ということでコメント回答。
00:00:19	として 4 月 27 日付で、資料を 2 点、本編と補足資料をいただいております。
00:00:25	それでは北陸電力の方からご説明お願いいたします。
00:00:32	はい。北陸電力の吉田です。本日はよろしくをお願いいたします。
00:00:36	はいまず資料の確認させていただきます。審査資料としては 3 点ございます。
00:00:42	コメント回答と二つ足が
00:00:56	すいません北陸電力吉田ですが、今ほど大井さんのコメントがですね、時間差を置いて重なってます。
00:01:06	聞こえて参りました。ちょっと私、今の声はいかがでしょう。大丈夫でしょうか。
00:01:11	今、止まったんですね。問題が聞こえております。最初ちょっと北陸電力さんの方からも二重に聞こえることあったんですが、画面を切って、ちょっと改善しながらやっていきましょう。
00:01:28	はいそうしましたら画面を、
00:01:29	落としながら、御社でやらせていただきますので、何か問題がありましたら、
00:01:35	またおっしゃってください。
00:01:37	それでは、説明続けます。資料を 3 点ございます。
00:01:42	まずコメント回答と書いたものが本資料ですそして補足資料、そしてデータ集となります。
00:01:48	その他本日の参考としてですね、これ、これまでのコメント回答の一覧をお付けしております。
00:01:54	それでは本資料に基づきまして、ご説明いたしますが、本資料で、
00:02:00	本社で説明する内容の概要を、私の方から、目次の前ですね、添付している内容について、
00:02:07	ポイントを絞って先に説明させていただきます。まず 3 ページの方。
00:02:12	お願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:14	本日の説明する内容でございます。
00:02:17	この敷地近傍の断層の評価につきましては、昨年7月、そして、
00:02:22	7月の会合とですね10月の現地調査で説明を行っております。
00:02:27	この現地調査でのコメントを踏まえまして昨年11月、そして12月の会合において、スタンスを、の活動性評価の方針について説明を行いました。
00:02:38	それを踏まえ、その後、我々としてデータ拡充を行ってきました。
00:02:43	本日は追加したデータを踏まえまして、敷地近傍の断層に関するコメント回答を行うものでございます。
00:02:50	4ページの方にします。
00:02:53	ここには敷地近傍の断層の評価をまとめて記載しております。
00:02:58	個別の断層といたしましては、福浦断層として断層を、
00:03:03	そして一番下の戸川南岸断層に関するコメントが残っておりましたので本日回答を
00:03:10	いたします。
00:03:12	5ページの方には、本日回答する内容も含めまして残っております12項目のコメントを、
00:03:19	示しております。
00:03:23	はいすみません6ページ、7ページですね。
00:03:27	こちらには本日回答いたします11項目の回答の概要を示しておりますして、次の9ページ以降には、各項目の
00:03:37	コメントの回答ですね。
00:03:41	簡単にワンペーパー程度でまとめて添付しております。
00:03:45	この内容につきましては、本文の方で説明いたしますが、
00:03:49	ポイントとなる二つの回答につきまして私の方から説明させていただきます。
00:03:56	13ページの方、お願いします。
00:04:01	はい。
00:04:02	昨年ですね、現地調査におきまして、福良断層の南端の連続露頭をご調査いただきました。
00:04:11	その時にですね、ルートマップの地質学的記載が不十分というご指摘を受けましたので、
00:04:17	その後詳細な観察、そして記録を残しました小規模な節理とか、そういったものをしっかり

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:04:25	記載をして残しております。本日は、そういった資料もお付けしてしますので、後程説明いたします。
00:04:32	続きまして 15 ページ。
00:04:34	の方をお願いします。
00:04:37	こちらは、断層の活動性評価についてでございます。
00:04:42	昨年末の会合です、断層をの活動性評価の方針についてご説明いたしましたが、
00:04:49	その後です、①で示しておりますが、
00:04:55	この断層を挟んで分布する地形面とですねその下の岩盤表面雁線ですね。
00:05:02	そちらにですね、高低差があるかどうかについて詳細な調査を追加しております。高低差があるかどうかについて詳細な、また②の鉱物脈、
00:05:12	につきましても、新たに薄片を派遣をしてですね、観察を継続して参りました。
00:05:19	16 ページの方、お願いいたします。
00:05:24	ここはですねこのページはですね、津保川ダムの 5 班で行いました大江須永というボーリングから作成した派遣です。
00:05:32	断層の最新面を横切る横断する IS の混合層脈というのを確認することができました。
00:05:41	続いて次の 17 ページを、
00:05:44	ご覧ください。
00:05:46	これは地形面の、断層を挟んだ変位の有無に関する評価ですが、
00:05:51	この旧汀線の高度分布について、詳細な調査を行いまして、データ拡充を行っております。その結果としまして、断層、大戸、及びその延長方向、
00:06:04	挟んで分布する。
00:06:06	中段 91 名、そして攪乱 91 平面、そして 1B 面の、段丘面の内縁表何円の標高と、
00:06:15	あと旧汀線高度というのに断層の上盤側、
00:06:20	これ南東側になりますが、一様に高いという傾向は認められないことを確認してございます。
00:06:26	続いて 18 ページ 19 ページをちょっと見開きでご覧ください。
00:06:34	これはですね断層を、を挟んだ地形面と、その下の岩盤上面の高度を比較するための、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:06:42	断面線を適切な位置に設定するために、普段サイズ、そして、先方年度作成し、ここで示します通り 10 本の断面図を作成しております。
00:06:54	結果としまして、さきに示しました旧汀線の結果等を同様の結果ですが、断層及びその延長石を挟んで分布いたします。注意、そして行為、
00:07:07	の目にですね、この地形面そして岩盤上面に断層をの上盤側
00:07:14	がですね、一様に高いというような系統的な状況は認められませんでした。
00:07:20	そういった状況が、今回、この後詳細に説明いたします。それでは、内容につきまして、小林の方から引き続き、説明させていただきます。
00:07:32	教育電力の小林です。
00:07:35	23 ページから 25 ページが、本資料の目次となります。
00:07:40	今回の資料は、コメント回答資料ですが、ポイントに関連する敷地近傍の各断層について、一連の評価を説明する構成となり、各コメントバイトをその中に埋め込んでおります。
00:07:53	以降のページで、コメント会合が前回会合からの主な変更点を中心に説明いたします。
00:08:00	29 ページをご覧ください。
00:08:05	左の活動性評価の枠の最下部に、
00:08:09	福村断層の傾斜角が約 60 から 80 度と推定されることを明記しております。
00:08:16	41 ページをご覧ください。
00:08:23	浦断層の大坪ダム右岸周辺の調査結果について、現地調査へのコメントを踏まえ、右図にピンク色で、
00:08:31	鳥羽ダム右岸トレンチの断層位置に基づく、
00:08:35	南道露呈までの断層の図学上の層で延長位置を示しております。
00:08:42	次の 42 ページは、
00:08:44	喜多道路のり面の調査結果ですが、
00:08:46	現地調査において、断層を挟んだ。
00:08:49	岩相の違いに言及があったことを踏まえ、
00:08:52	浦さんが坂側で安山岩均質が特別、
00:08:55	下盤側、火山礫凝灰岩からなることを明記しております。
00:09:01	また、現地調査のコメントを踏まえ、詳細な再観察を行った結果、
00:09:06	ルートマップ中に、
00:09:07	赤全赤線で示しておりますが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:09:09	浦断層のつぶは坂に分布する副次的な断層。
00:09:13	及び、
00:09:14	プール断層の約 80 メートル弾性法における断層を新たに提起しております。
00:09:22	次に、44 ページ。
00:09:24	これは
00:09:26	図学上の想定延長位置における観察結果になり、
00:09:29	右図にいっぺん空気露点た範囲が想定、延長位置となります。
00:09:36	浦断層のほかに、
00:09:38	この西側において、さんざん均質と角れき質の、東海付近に新たに断層が認められます。
00:09:46	この断層は、総合傾斜が近いですが、
00:09:51	あそこはプラントと後継者の生活の変更説明等から、プラントに比べ、差異の程度はよいと判断し、佃断層の上盤側に分布する副次的な断層等を評価しました。
00:10:04	次の 45 ページが、
00:10:06	図学上の想定延長位置の写真。
00:10:09	46 ページが、
00:10:11	福浦断層の上盤側に分布する副次的な断層の詳細観察結果となります。
00:10:19	次の 47 ページ。
00:10:20	ですが、
00:10:22	福浦断層の約 80 メートル、南西部で新たに記載した断層になります。
00:10:29	この断層は、副断層のざく場の想定延長位置から離れており、層厚が東西走向で、
00:10:36	福浦断層の走向とは直交することなどから、
00:10:39	プラントには対応しないと判断しました。
00:10:43	なお、反射法地震探査の B、B 測線において、
00:10:47	この断層の延長位置に、中央付近から深部まで連続するような断層は認められず、
00:10:52	この破碎部は連続性の乏しい断層と判断しました。
00:10:58	48 ページ以降が、大坪ダム右岸南道路底盤の調査結果とあります。
00:11:04	49 ページをご覧ください。
00:11:09	宇田断層について、現地調査のコメントを踏まえて再観察を行い、
00:11:14	被害者の方に明瞭で平滑なせん断面を伴うこと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:11:18	白書ブック部から成る移動コーブ認められる。
00:11:23	当面構造等から見かけ左ずれセンスが推定されることを追記しました。
00:11:30	50 ページ、51 ページにおいて、断層のずれのセンスに関する、
00:11:35	詳細観察結果を示しております。
00:11:39	52 ページは、
00:11:41	これはその上盤側で確認した断層となります。
00:11:45	この断層の走向傾斜は N、
00:11:48	32。
00:11:50	68NW で自己血粘土を伴いますが、田浦断層の破碎部に切られておりま す。
00:11:57	次に、55 ページをご覧ください。
00:12:03	大沢ダム右岸トレンチの調査結果ですが、
00:12:06	こちらについても、フランスを挟んだ断層の違いとして、
00:12:10	馬場が安山岩均質のブロックを含む、安山岩角れき質、
00:12:14	下盤が安山岩角れき質、海からなることを記載しております。
00:12:20	62 ページをご覧ください。
00:12:26	コメントNo.42 で、
00:12:28	トレンチ南壁面の観察結果も含めて、
00:12:31	断層の活動履歴等については壁面の状況と整合的な説明を行うようにと 指摘されたことを踏まえ、
00:12:38	もともと補足資料にあった南一辺の観察結果をこちらにつけておりま す。
00:12:43	また、上の枠の 2 丸目に、断層 0102 という 2 本の断層について、
00:12:49	断層①は砂層層理分まで認められ、
00:12:53	岩盤上面及び砂礫層状面の変位量は、断層方向に約 20 センチであるこ と。
00:13:00	ナビパー退職粘土層下部まで認められ、
00:13:04	麻生総理部長宮総理の変容は断層方向に約 10 から 20 センチであること を明記しております。
00:13:12	なお、北壁面において、海食粘土層の上位する、赤褐色土壌等について は、
00:13:19	南壁面では削剥されており、認められません。
00:13:24	次の 63、64 ページですが、トレンチの北壁面南壁面の調査結果に基づ く、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:13:31	黒断層の活動履歴、活動度の検討結果になります。
00:13:37	64 ページの増、使いながらご説明します。
00:13:41	コメントを踏まえた 3 歳観察の結果、現地調査までは、北壁面の結果に基づき、空断層は 3 時期に活動した可能性があるとして説明していましたが、
00:13:53	右図の南壁面、
00:13:54	において、断層①が砂層層理分までしか伸長しないのに対し、
00:14:00	断層②がさらに上位の海食粘土層下部まで伸長することを踏まえ、
00:14:05	断層①と②が別の時期の断層活動を示す可能性があり、
00:14:10	断層①による変位は砂れき層、砂層層理分の堆積後、
00:14:15	麻生、層理部の会津儀間に生じた可能性があるとして判断しました。
00:14:20	これにより、これまで想定していた 3 時期よりも古い時期に、
00:14:24	断層活動 1 があったとしております。
00:14:29	また、断層活動 2 についても、
00:14:31	これまでは、
00:14:33	仮想堆積後から移植土壌形成前としておりましたが、
00:14:38	左図に示す北壁面を再観察し、
00:14:42	多層
00:14:43	理想リブドジャー株が断層の付近から 5 番まで、選択的に参画されることから、
00:14:49	砂層無層理部と上下部の堆積以降が、海食、粘土層の堆積前に、断層活動にの力をしたところ、絞り込みました。
00:15:00	断層活動時期 3、4 については、以前と同様の解釈となります。
00:15:08	さらに、スクール断層の活動度の記載を、右下の方に追記しまして、
00:15:13	田力層、砂層、
00:15:15	赤褐色土壌、
00:15:17	赤色土壌基底面の変容と、連盟から、
00:15:22	平均変位速度が 0.083 メートルパー 1000 年、8.3mm% 推定しました。
00:15:31	次に、75 ページをご覧ください。
00:15:39	プラン層の上下盤における地質分布や変質状況の違いの検討のうち、
00:15:44	鳥羽ダム右岸トレンチの断層の上下盤の岩盤における XRD。
00:15:49	エクサル結果エクサル得る結果となりますが、コメントを踏まえ、
00:15:53	分析結果を左側にし、右が東となるように並び替えて示しております。
00:16:00	次の 76 ページですが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:16:03	コメント No. 37 の岩盤について認められる粘土質の物質が、
00:16:07	どのような物質であるかを確認することを踏まえ、検討を行っています。
00:16:13	分析試料の写真及び XRD 分析結果に基づく検討の結果、
00:16:18	これら主に白色から褐色の粘土質の物質、粘土部からの腐食のエンドースのべつエンドかなり開き安山岩類だけあったのが、
00:16:29	ありす鉱物が主体であると判断しました。
00:16:33	70、
00:16:34	7 から 79 ページには、試料写真と分析結果、
00:16:39	80 から 83 ページには、岩盤中の粘土部とそれを覆う第 4 系の関係について記載しております。
00:16:48	次に、106 ページをご覧ください。
00:16:54	106 ページの、
00:16:55	副断層南部の分布の調査結果ですが、現地調査へのコメント No.44 を踏まえ、
00:17:01	植野。
00:17:02	追加調査の考え方の四角の 2 ポツ目に記載したように、
00:17:07	フランス南部の認定の考え方を次ページの、
00:17:11	107 ページに示しております。
00:17:13	107 ページをご覧ください。
00:17:19	フランスの PM 遠藤地形が認められなくなる、大津馬場ダム以南での、その次は、
00:17:27	リニアメント変動地形が連続的に分布する大坪アラームウォークの調査で確認された特徴に基づき、
00:17:34	確認した破碎部が、クーラン層に対応するか、その他の破碎部であるかを評価しました。
00:17:41	左の方に示す表が、
00:17:43	副断層について、大坪ダムオープンの調査で確認された特徴になります。
00:17:49	その特徴に基づき、右の、このような考え方で確認された破碎部は、
00:17:54	プラントに対応するか否かを評価しております。
00:17:58	まず、①総合計でその検討として、層厚が NS 倉庫経営者が、
00:18:04	70° ウェストと滝田

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:18:07	あれに破碎部の性状の比較として、馬場にかかわらず、未固結な細胞とも何か、
00:18:13	③園属性の検討として、後世延長に位置する隣接校等に連続するかといった観点で評価を行っております。
00:18:22	その考え方にに基づき、
00:18:24	クーラン層として認定した細部を次の 108 ページに示しており、
00:18:29	その認定結果や断層トレースには、現地調査時点から変更ありません。
00:18:36	119 ページをご覧ください。
00:18:42	こちらが OS の 2 項の調査結果となり、
00:18:46	3 番目です。左から 2 番目に示したフォーリン法となります。
00:18:53	こちらは、現地調査で、特に細部が薄いということで、ご指摘があった高となりますが、
00:18:58	これについては、先ほどの考え方にに基づき、走向傾斜が副断層と調和的であること。
00:19:04	小さいながらも、個別の破碎部、粘土状破碎部を伴うこと。
00:19:09	隣接する。
00:19:10	OS 三田施行等に連続することから、
00:19:14	フランスの西側に連続する破碎部と判断しました。
00:19:19	また、
00:19:20	その他のボーリング孔のページの上においても、本ページと同様、
00:19:25	認定の根拠が明確になるよう、紫字で、
00:19:28	プラントに対応する細部と判断した根拠を明示しております。
00:19:34	122 ページをご覧ください。
00:19:40	ルートマップ I の調査結果ですが、
00:19:43	右図の左の方に、
00:19:45	赤線で示した固結した断層について、
00:19:49	現地調査にて分布の詳細を確認できればとのお話があったことを踏まえ、
00:19:53	浦崎枠範囲で追加掘削を行い、
00:19:56	西側で、
00:19:57	二条に分岐することを確認しております。
00:20:00	こちらの写真は、補足資料に掲載しております。
00:20:05	また、次の 123 ページ。
00:20:08	におきまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:20:09	こちらでも、下の方にも、紫で断層両側における断層分布を明記しております。
00:20:18	次に、154 ページをご覧ください。
00:20:27	ホームページ、
00:20:28	次の 155 ページにおいて、
00:20:31	浦断層南端の評価のうち、ルートマップ F について、
00:20:36	現地調査におけるコメント No. 41 を踏まえて再観察を行い、
00:20:40	断層や節理、岩相区分に関する地質学的記載を充実させております。
00:20:47	この結果、以前は願書安山岩角れき質にしておりましたが、今回、
00:20:53	石崎安山岩類の安山岩均質、
00:20:56	安山岩角れき質、
00:20:57	綿貫凝灰岩に区分しました。
00:21:01	また、断層、4 ヶ所で記載しましたが、いずれも走向傾斜が福浦断層と異なり、
00:21:08	浦断層に対応する断層ではないと判断しております。
00:21:13	また、ルートマップの全線写真について、補足資料に、
00:21:17	ルートマップの位置との対応がわかる形で掲載しております。
00:21:23	156 ページから 159 ページにおいて、4 ヶ所の断層の、
00:21:28	詳細観察結果を記載しております。
00:21:33	なお、159 ページ。
00:21:35	ですが、
00:21:36	契約の文章に誤記があり、
00:21:39	田丸梅野断層に対応する。
00:21:42	断層ではないわ、正しくは、
00:21:44	福浦断層に対応する断層ではないとなります。
00:21:48	こちら申し訳ありませんが、次回提出資料にて修正させていただきます。
00:21:54	160 ページをご覧ください。
00:21:59	ホームページ等、次の 161 ページにおいて、ルートマップ、F の南方のルートマップ G で再観察を行った結果、
00:22:07	以前は、
00:22:08	岩盤を安山岩均質アクレキ室としていたものを、
00:22:13	安山岩均質、隔壁質、火山礫凝灰岩品出願の 4 会社に区分しました。
00:22:21	断層、5 ヶ所で記載しましたが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:22:24	いずれも走向傾斜が副断層と異なることから、福浦断層に対応する断層ではないと判断をしております。
00:22:32	こちらについても、詳細な全線写真を補足資料に掲載しております。
00:22:38	162 ページから 165 ページにおいて、5 ヶ所の断層の詳細観察結果を記載しております。
00:22:47	続いて、213 ページをご覧ください。
00:22:55	213 ページですが、コメント No. 36 への回答としてくる断層と、2 号炉の耐震重要施設及び重大事故等対処施設との、
00:23:05	医師関係を記載しております。
00:23:08	プラスの事象 1 と、これらの施設との最短距離は約 930 メートル。
00:23:14	敷地との最短距離は約 170 メートルとなります。
00:23:19	次の 214 ページに解説と断層からの最短距離を記載しております。
00:23:27	次の 215 ページには、
00:23:29	プール断層の傾斜角についてまとめております。
00:23:34	参照地震探査等の結果、
00:23:36	調査データに基づく傾斜は、
00:23:38	60 から 80 度となります。
00:23:41	また、地震動評価にあたっては、担当周辺の地質構造の特徴を踏まえ、周辺の断層と同じく、高角逆断層である約 60 度とします。
00:23:52	以上が、副断層に関するご説明となります。
00:23:57	綴りで 219 ページをご覧ください。
00:24:04	乾燥に関する、
00:24:07	説明となり、ホームページが断層をの評価結果を求めたページとなります。
00:24:13	詳細は後程ご説明しますが、
00:24:16	活動性評価について、①地形面の変位の有無による評価。
00:24:21	②本物理学法による評価の結果とか、
00:24:24	②を岩相おり、後期更新世以降の活動は認められず、
00:24:29	その他の詳細についても、ちょ、これらの評価と整合することを確認しております。
00:24:34	次の 220 ページが調査位置図となります。
00:24:40	228 ページをご覧ください。
00:24:46	こちらで断層をについて、新たに追加した、S6.5 項を踏まえ、ボーリング調査で確認された断層の性状等をまとめており、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:24:56	130 ページには、低下した S6.5 孔の断層を付近のコア写真、CT 画像を記載しております。
00:25:05	234 ページをご覧ください。
00:25:10	卵巣西側の上盤側では、断層を境に、北西側が強く演出して、難しいことを、定量的なデータで示すため、
00:25:19	断層の南東側上盤側と下盤側で、XRD 分析及び針貫入試験を実施し、断層をの北西側、南東側に比べて、
00:25:30	演出を強くこうむりなんす、軟質化していることを確認しております。
00:25:36	235 ページをご覧ください。
00:25:42	断層をの活動性に関する評価手法及び評価地点を記載しております。
00:25:47	評価手法としては、
00:25:49	地形面の変位の有無、鉱物脈を、
00:25:52	細部性状の比較、切り合い関係となります。
00:25:56	このうち、図や表において、黄色で網かけしているものが主たる根拠であり、
00:26:01	地形面の変位の有無による評価については、平石の表に示す二つの観点から、
00:26:08	鉱物脈については、新たに作成した、S7 孔の今井の派遣により断層をの活動性を評価した OSL 項目。
00:26:17	140 ページをご覧ください。
00:26:21	地形面の変位の有無による評価において用いる段丘面ですが、
00:26:26	昨年の審査会合以降に多数の地点で成果調査を行い、
00:26:30	詳細なデータを取得しました。
00:26:33	村瀬基地の地点が、追加した実働地質データ地点、36 地点となり、
00:26:40	すでにお示ししていた時点を合わせて約 80 件のデータを示しています。
00:26:47	また、次の 241 ページの表において、各調査地点の土壌や火山灰の分布状況、
00:26:54	地形面や岩盤上面の標高を記載しております。
00:26:58	次の 242 ページから 244 ページが、
00:27:02	鉱物脈法による評価に用いる変質鉱物。
00:27:06	IS 混合層の説明となります。
00:27:11	245 ページをご覧ください。
00:27:15	地形の変位の有無による評価のうち、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:27:18	段丘面内縁標高旧汀線高度に基づく検討結果となります。
00:27:25	断層及びその延長上は 30 する段丘 I 面、
00:27:29	一連 CB 面の段丘面内縁標高旧汀線高度について、
00:27:36	面図に丸で示した地点において調査を行った結果、
00:27:40	高度分布図において、
00:27:42	中位段丘 I 面が緑丸多い段丘 I 面が広まる。
00:27:48	こういう段丘 I b 面が赤丸となりますが、いずれも断層、大野上盤側何とかが一様に高い傾向は認められません。
00:27:58	また、このバックデータとして、次の 246、247 ページに、中位段丘 I 面、
00:28:06	248 ページに、段丘 I a 面、
00:28:09	249 ページに、1BM の断面図を示しており、
00:28:13	各地点の PS データについても、詳細な柱状図を作成し、補足資料に掲載しております。
00:28:21	250 ページをご覧ください。
00:28:27	こちらは、断層法及びその延長位置は三里分とする地形面の検討結果となります。
00:28:34	左図のぼ線で示した断面線における、
00:28:38	断層を、及びその延長上は三田ランク A の高度差について、
00:28:42	中央上部の図に示しております。
00:28:47	横軸方向に入った路線が各断面の位置、縦軸が断層を挟んだ飛行であり、
00:28:54	白抜の赤丸が、
00:28:56	県民の機構、
00:28:58	赤で塗り潰した丸が岩盤上名の飛行をして示しております。
00:29:04	縦軸の中央ヒコウ 0 として、
00:29:06	それより上が断層の上盤側が高い場合、
00:29:10	北川上盤側が低い場合のプロット位置となります。
00:29:14	その結果、断層を、及びその延長上は 30 分とする中位段丘 I 面、
00:29:20	CM1 ビーム。
00:29:23	面 3 面の地形面や岩盤上面に、
00:29:27	断層をの上盤側何とかが一応に高くなるような系統的な高度差は認められません。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:29:35	また、断層を挟んだと坂側と下盤側のヒコウの平均値は、地形面で 0.50 メートル、
00:29:41	岩盤表面は 0.09 メートルとなります。
00:29:46	一方で、プール断層を挟んだ断面に関する検討結果を 250 ページとります。
00:29:56	255 ページの方ご覧いただきまして、
00:29:59	左図の赤線部における、
00:30:01	断面をとった結果、
00:30:02	スクール断層は 3 に分布する高位段丘 I b 面及び面について、地形面及び岩盤上目に、
00:30:10	上盤側西側高くなるような傾向が認められます。
00:30:14	また、宇和盤と下盤のヒコウの平均値は、地形面は 2.5 メートル。
00:30:20	岩盤上面は 3.03 メートルとなります。
00:30:25	ページが前後して恐縮ですが、
00:30:27	先ほどの 250 ページに戻っていただき、
00:30:31	先ほど説明しました断層を挟んだ平面等の非公募の平均値と比較した結果、
00:30:36	下の表に示す通り、
00:30:38	断層をにおいて、
00:30:40	プラントで見られるような、数メートル程度の地形面や岩盤両面の高度差は認められません。
00:30:48	次の 251 ページ以降がバックデータとなりますが、
00:30:52	151 ページにおいて、
00:30:55	昨年 12 月の審査会合でのコメントを踏まえ、
00:30:58	地形標高段サイズ、先方面を用いて、断面の設定の考え方を示しております。
00:31:05	設定の考え方としては、2 点あり、
00:31:08	マル A として、
00:31:10	段丘面は海側に向かい、緩く傾斜することから、
00:31:13	旧汀線と概ね平行な断面線を設定する必要があるが、
00:31:18	当該範囲の旧汀線は入り組んだ形状を示すため、
00:31:21	地形標高段サイズや施工面図を用いて、旧汀線と概ね平行な方向に断面線を設定しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:31:29	また、マル B として、クーランスの活動の影響を排除するため、クーランスを横断しないよう、
00:31:35	福浦断層の上盤側、或いは下盤側にあるランキングを比較する断面線を設定しております。
00:31:43	この考え方に従い作成した各断面について、
00:31:47	252、153。
00:31:49	254 ページに示しております。
00:31:53	また、岩盤上面の高さを調査した地点の詳細データは、
00:31:58	補足資料に掲載しております。
00:32:02	256 ページをご覧ください。
00:32:07	こちらが鉱物脈法による評価結果となります。
00:32:13	S7 項において、次の 257 ページで示した、主せん断面において 90 アールの方向で薄片を作成しております。
00:32:22	次の 258 ページが、このうち、評価の shall 根拠としている薄片③の観察結果となり、
00:32:30	最も細粒化している最新ゾーンの上盤側境界に最新面を認定しております。
00:32:38	259 ページから 261 ページ。
00:32:41	において、分析に基づき、
00:32:44	is 金大須賀。
00:32:46	最新ゾーンやその周辺に分布していることを示しております。
00:32:53	162 ページをご覧ください。
00:32:56	学園③の最市民においてした図で示した範囲、
00:33:01	において、
00:33:02	粘土鉱物、IS 混合層等、最新面の関係を確認、確認しており、
00:33:08	次の 263 ページが詳細な観察結果となります。
00:33:14	右のスケッチで、点線で囲った範囲において、粘土鉱物 is 混合層が最市民を横断して分地、そこに変位変形は認められません。
00:33:24	次の 264 ページに写真とスケッチの対比、
00:33:29	165。
00:33:30	266 ページに、粘土鉱物が最新面を横断する箇所のうち、
00:33:35	範囲 A-1 の詳細観察結果、
00:33:38	167、268 ページに、案 1、A-2 の詳細観察結果を示しております。
00:33:46	169 ページをご覧ください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:33:52	こちらがもう一つの主たる根拠としている学園④の観察結果です。
00:33:57	これ④の観察の結果、
00:33:59	日数で示した最新ゾーンと、分単位の境界に最新面である面1を認定しました。
00:34:07	次の270ページに示した範囲において、
00:34:12	について271ページ。
00:34:15	観察結果を示しております。
00:34:19	右のスケッチに白点線で、
00:34:21	示した位置において、
00:34:24	粘土鉱物、IS混合層が最新面を横断して分布し、
00:34:27	そこに変位変形は認められません。
00:34:31	次の272、273ページに、鉱物が最新面を横断する箇所の詳細観察結果、
00:34:38	stage回転写真を示しております。
00:34:42	274ページをご覧ください。
00:34:48	細部正常企画からの評価について、もともとの断層をとクーランスの比較に加えて、
00:34:54	断層と敷地内断層の比較も追加し、表に整理して示しております。
00:35:00	断層大戸敷地内断層の破碎部性状は類似することを確認しております。
00:35:06	また、評価に用いるデータに新たに追加した、S6.5個も加えており、
00:35:11	このデータを277ページから184ページに示しております。
00:35:19	次に、294ページですが、
00:35:23	切り合い関係からの評価となり、
00:35:26	大きな変更はございません。
00:35:32	次に、301ページをご覧ください。
00:35:38	断層をの端部に関する検討結果となり、もともと鉱物の影響として、新たに実施したボーリングをS5.5でしたが、
00:35:47	断層Oに対応する断層が認められなかったことから、
00:35:51	S5.5を南端と評価しました。
00:35:55	これにより、断層の長さは最大でも約270メートルと評価されます。
00:36:02	303ページをご覧ください。
00:36:06	こちらが、S5.5の調査結果となり、
00:36:10	左図で断層をの想定延長位置において、S5.5を実施しております。
00:36:16	304ページにお写真を示しており、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:36:19	他のボーリングコアでは、断層が凝灰角礫岩と安山岩の岩相境界に分布するに対し、
00:36:25	S5.5 は凝灰角礫岩のみとなっています。
00:36:30	305 ページに確認された破砕部の検討結果を示しており、
00:36:35	走向傾斜や性状の比較、
00:36:38	連続性の検討から、断層をに対応する破砕部は認められませんでした。
00:36:45	307 ページをご覧ください。
00:36:51	こちらが断層をの何法にするルートマップ JA となり、
00:36:57	現地調査のコメントを踏まえ、
00:36:59	設備を再観察した結果、
00:37:01	右図中の赤枠位置において、変形構造が認められたことから、こちらを破砕部として評価を見直しております。
00:37:09	次の 308 ページが、当該箇所の詳細観察結果となり、
00:37:14	N78° West。
00:37:17	70° NE の断層が認められましたが、走向傾斜が断層と異なることから、
00:37:23	断層に対応する断層ではないと判断しております。
00:37:27	断層をに関する説明は以上となります。
00:37:32	続いて、315 ページをご覧ください。
00:37:40	右側南岸断層の評価結果ですが、左の活動性評価の枠内において、村崎井出断層傾斜区は約 60 度であることを追記しております。
00:37:51	また、中央の長さの評価の枠内において、
00:37:55	奥東端の評価に関するコメント No. 38 に対応して、
00:37:59	紫出て、地形地質調査によれば、少なくとも 6A より北東方向には、須川南岸断層に対応する断層は認められるものの、
00:38:07	断層と対応して認められる直線的な重力異常急変部が、さらに奥島弧が良いぞ連続することから、
00:38:14	特 A よりも北東方の地点を断層北東担として評価したことを追記しております。
00:38:23	326 ページをご覧ください。
00:38:30	現地詳細のコメントに対応して、ボーリング TJ1 孔の深度 135 から 139 メートルで認められる暗海食の岩種について検討しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:38:42	現地調査では、これはドレライトではないかというお話もありましたが、エクサル分析、薄片観察の結果、この場所は安山岩であると判断しました。
00:38:54	なお、同様のコメントで、
00:38:56	フランスのコアについて整理は災害の可能性も、のご指摘もありましたが、
00:39:01	こちらは再観察により、その可能性があると考えられる区間を、データ集の中に記載、追記しております。
00:39:11	338 ページをご覧ください。
00:39:19	奥断層北東弾の地質調査結果ですが、
00:39:22	6A が地形、地質調査に基づく不動産であると明記することに伴い、
00:39:28	IM の A につきまして、6A の一部として整理して記載しております。
00:39:36	次に、344、345 ページ。
00:39:40	におきまして、
00:39:42	6A に関する調査結果ですが、
00:39:46	審査会合での露頭写真を追加するようにとのコメントを踏まえ、
00:39:50	露頭写真③、
00:39:52	④、⑤を追加しております。
00:39:57	355 ページをご覧ください。
00:40:05	断層の端部評価のまとめにおいて、下図に 6A が地形地質調査に基づく奥東端であること。
00:40:12	及び上の白枠に、
00:40:14	重力異常急変からさらに東方へ続くことの説明を追記しております。
00:40:21	資料の説明は以上となります。
00:40:28	はい。原子力規制庁の大井ですご説明ありがとうございました。
00:40:32	それでは審査側から幾つかコメントさせていただきます。
00:40:37	それではまた私の方からですが、本日の 3 ページ、いや、じゃないか。
00:40:43	6 ページ 7 ページですね。
00:40:47	今回、概ねコメント回答としては、現地調査ですね福田断層に関して現地調査での、
00:40:55	確認事項に対するコメント回答で断層は前回の
00:41:00	審査会合第 1105 回、
00:41:03	と、もう温度って第 1090 回ですね、会合のコメント回答。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:41:07	ときがわなんかはその現地調査以前ですねコメント回答として未回答コメントが残っているもの。
00:41:13	というふうなものというふうを考えております。
00:41:17	私からはですねまずコメント No. の 4849 の断層をについて、
00:41:23	幾つかコメントしたいと確認をさせていただきます。
00:41:28	まず 245 ページをお願いいたします。
00:41:35	こちらの 9. 先行、前回の指摘で旧汀線高度も、
00:41:41	各段丘面、
00:41:43	でですね少し加えていただいて断層の、を挟んで、どういうふうに、
00:41:48	あるかというのをまとめていただいたということですが、えっとですね、ちょっとこれ
00:41:56	今回の説明では断層の上盤側ですねこの 245 ページの下、左、下の表でいうと、左側ですね左側の方が
00:42:08	非常に高いという傾向は認められないというふうな、そういうだんだん等はですね、
00:42:13	それは
00:42:15	こう見ると、そういうふうに見えるんですけど。
00:42:19	えっとですねこれ中位段丘等
00:42:23	すいません、高位段丘 I b 面っていうのは、
00:42:26	これ見ると福浦断層も横切って横断しているような、
00:42:31	ものだと思うんですけどそれについてちょっと、
00:42:34	福浦勝です。
00:42:37	活断層で
00:42:40	どっち傾斜でしたっけ。
00:42:44	西傾斜西傾斜で西上がりということなんですけど、そういうことを、
00:42:49	は、この
00:42:51	どういうふうに考えているのかなということをまずご説明をとなかったと思うのでお願いいたします。
00:43:01	はい。北陸電力の小林です。
00:43:04	と、
00:43:05	おっしゃるように、これなんか 1 遍につきましては、9 断層、を横断するような形となっております。
00:43:12	で、
00:43:14	卵巣につきましては、4 番があれば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:43:18	今の、
00:43:19	145 ページの高度分布図で言いますと、
00:43:23	左の方から四つの丸ですね、こちらの方、フランスの上盤側として、
00:43:31	9. 清神戸を押さえておりますが、今度、下盤側の方に行きますと、
00:43:39	こちらの高度分布図で、
00:43:42	右から、
00:43:43	一つ目の二つ目の丸ですね。
00:43:46	こちらですと、ちょっと旧汀線行動。
00:43:54	失礼しました、えっとですね。
00:43:56	こちら、
00:43:57	そうですね。
00:43:58	249 ページの方、すいません、ご覧いただきまして、説明したいと思 います。
00:44:05	149 ページの項で、
00:44:08	ための 1 から 4 が、佃断層の西側、上側になります。
00:44:13	で、こちらの方では、旧汀線高度を押さえているのですが、今度、下盤 側の 567 ということになりますと、まず、
00:44:22	向後小田島面、こちらの方は、まず地形的に、
00:44:27	何機名の内容のところ、ちょっと改変であったり、侵食を受けている 可能性があるということで、精度の高いなきゃいけない標高旧汀線ポー トは、
00:44:38	押さえられていないということになります。
00:44:41	⑥につきましても、
00:44:44	旧汀線神戸の、
00:44:47	市が今押さえておりませんでして、今度、
00:44:50	コード押さえられているのが、7、
00:44:53	名古屋市前面ということになります。
00:44:56	ですので、ちょっと
00:44:58	この番号に比べて下盤側の方のデータがすごく少なくなっておりまし て、
00:45:05	信頼性のあるような、
00:45:07	詳細なこの構造比較の検討というのは、ちょっと副断層と、1 便の、
00:45:13	関係については、できていないのかなというふうに考えております。
00:45:17	以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:45:22	はい。ご説明ありがとうございます慶長の井です。
00:45:26	たがちょっと7'断面、
00:45:31	今ちょっと福良から離れたところでしか撮られてない、旧汀線高度についてとられていないので福浦断層を挟んだ比較はこれでわからないというふうなそういうお考えということで、
00:45:43	理解しました。一方で245ページに戻っていただいて、断層を挟んでも一応1B面の旧汀線高度には
00:45:53	傾向比較されているということですけど、
00:45:56	今も同様なことはいえるんじゃないのかなというふうにちょっと聞きながら思ったんですが、
00:46:02	断層を挟んだ、挟んで、1B面の、
00:46:07	標高等は比較できるというふうな、そういうお考え。
00:46:11	ちょっと繰り返しの質問になるかもしれませんがそれは、
00:46:15	どういうふうなお考えですか。
00:46:20	はい。北陸電力の小林です。
00:46:23	江藤。245ページの上の平面図の方を見ていただきまして、断層のところは、青線で、
00:46:33	ちょうど延長位置が書いてありますが、比較的
00:46:38	構造物で、右の方にあるような、
00:46:42	一部の調査地点ですね、これと、建設するところにあって、
00:46:48	こういったことを踏まえますと、
00:46:51	福浦断層よりは、まだ評価、
00:46:54	できるのかなというふうに考えております。また、断層断層、先ほどの福浦と違いまして、A1A面、
00:47:04	また、中段一面、
00:47:07	でも、搬送後、
00:47:09	横切るような形でデータとれておりますので、
00:47:12	こういった状況も含めて、一応人、
00:47:15	断層の上側で高い傾向がない。
00:47:19	ということがいえるのかなと考えております。以上です。
00:47:25	はい。幻聴規制庁の井です。はい。わかりました。
00:47:29	ちょっとその旨はですね説明は、ちょっとこの資料からは、
00:47:36	読み取れなかったので、
00:47:38	ます、事業者の考えということは、はちょっと追記していただくと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:47:44	いようお願いいたします。
00:47:51	衛藤、はい、黒木今野小林です。了解いたしました。
00:47:56	引き続きですねちょっと
00:48:00	旧汀線高度の見積もり方についてということについて少し
00:48:05	お聞きしたいんですけど。
00:48:07	えっとですね、246 ページ。
00:48:10	これ注意、1 面なので、比較的
00:48:17	断層をに限ったデータということで見るべきと、ポイントかなというふうには私は考えているんですけど。
00:48:22	ここでちょっと細かい話なんですけど、
00:48:27	旧汀線高度、
00:48:29	は改正だ改正堆積物の増面で見積もっている場合があったり、
00:48:34	改正堆積物が
00:48:38	例えばどうだっけ。
00:48:45	すいませんちょっと補足だったかもしれませんが古いコアなので認定できないのとか、そういう理由とかで
00:48:52	旧汀線の基盤城面の標高を使ったりしてるんですけど統一感ちょっとないなというふうには思うんですけど、これは、
00:49:05	さほどこの
00:49:07	オーダー間では問題ないというふうにお考えなんでしょうか。
00:49:15	北陸電力の小林です。
00:49:17	まず、旧汀線行動の取り方としては、245 ページの方で、黄色枠で文章書いた下のところに※で、
00:49:29	旧汀線高度は何基内縁付近の改正堆積物。
00:49:32	または基盤案の定面標高としたと、いうふうに記載をしております。
00:49:37	こちらの考え方としましては、
00:49:42	こちらの
00:49:44	ご担当の請願のところだと、例えば、現在の海岸の方、いいましても、非常に例えば、
00:49:51	砂浜があったりして、改正堆積物が、
00:49:54	ずっとあると、というような状況ではなくて、場所によっては、干渉海岸となっていたり、
00:50:00	場所によっては、れき等の堆積物がたまっているという状況になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:50:06	それを踏まえますと、
00:50:09	旧汀線高度の検討におきましても、
00:50:11	各断面とりまして、
00:50:14	池村家付近、
00:50:17	において、被覆層に追われている喜多の再生堆積物、
00:50:22	場所によっては、改正堆積物が、
00:50:26	もともとないような場所もあるということで、
00:50:29	ない場合は、基盤案の定面を当時の旧汀線の付近の高さとして考えて、
00:50:37	そのようなコードの取り方をしているということになります。以上です。
00:50:46	はい。規制庁の大井です。
00:50:48	はい。ご説明ありがとうございます。
00:50:51	お考えはわかりました。
00:50:56	旧汀線について私から確認したいことは以上ですが、その他の志賀さんか何かございますでしょうか。
00:51:08	規制庁原田です。
00:51:11	と、
00:51:12	すいません。
00:51:15	9 ページで、
00:51:19	福村断層の傾斜につきまして、
00:51:23	地下深部構造から明らかとされている 2007 年能登半島沖地震の震源断層の傾斜角は 60° であるから、60°、それを踏まえて 60° とすると書かれてます。
00:51:37	その 60° とするのは、断層面積を広くとるために 60° 低角にするっていうのはわかるんですが、この 2007 年能登半島沖地震の震源断層と合わせる理由っていうのはどういうことなんでしょうか。
00:51:55	北陸電力木村です。
00:51:59	この能登半島周辺に分布している断層といいますのは、まず、日本海形成時に伸張応力場で形成された古い地質構造に強く規制されていると。
00:52:11	ということだろうといえますか、栗システム変えておまして、もともと高角度の正断層として形成されたものが、現在の東西圧縮のことを、
00:52:22	逆断層として、再活動したものが多いいった特徴がございます。
00:52:28	そういった断層のうち、深部構造が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:52:34	明らかになっている、2007年能登半島地震の震源断層の傾斜角というの がありまして、これは60°であるということが言われております。
00:52:44	ですので、
00:52:47	福浦断層の
00:52:49	調査データに基づく断層傾斜角っていうのは、60から80度というデー タなんですけども、
00:52:58	一般に、70°とか80°といった高角な断層は、
00:53:02	逆断層。
00:53:04	そして、
00:53:05	思考力までは動きにくいというふうにも考えられますんで、この福田断 層の深部では、この周辺に分布するような断層と、
00:53:16	同程度の傾斜角であるというふうに想定しまして、
00:53:20	地震動評価においては、福田断層の傾斜角を60度と、いうふうに設定 をしております。以上です。
00:53:29	ありがとうございました。
00:53:30	そうすると、274ページなんですけど、
00:53:34	福浦断層の傾斜角が70°のWって西傾斜70°ってなってますがこれ は、
00:53:43	どういうことでしょうか。
00:53:53	この274の一覧表だと、70度ですよ
00:53:58	見る限りは、
00:53:59	傾斜角が、はい、北陸電力の野原です。
00:54:04	274ページに示しておりますのは、先ほど示した調査結果から言います と、60度から80度という、幅を持って記載させており、いただいております。
00:54:15	この274ページに示しますのは、
00:54:18	その中でも、特に調査の中でも地下深部までしっかり、傾斜角が比較的 見えやすい反射法というものを重要視しております。
00:54:29	その反射法の結果、そういったものを見ますと、概ね70°付近、
00:54:36	ということが言われております。
00:54:40	そういったことから反射の結果で70°と言ってはおりますが、
00:54:44	ポーリングですとか露頭とか、そういった幅をかながみますと60度か ら80度という記載をさせていただいております。その中で、我々とし ましては先ほども説明した通り、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:54:55	地震の評価にあたっては、地下深部の、その他の周辺の断層との、
00:54:59	構造との類似性というものを考慮しまして、60° というふうに設定して いると。
00:55:05	そういった状況でございます。
00:55:07	以上です。わかりました。
00:55:10	あともう1点質問ですが、ちょっと待って。
00:55:22	90 ページのうトモグラフィ。
00:55:25	速度分布図が出されてますが、
00:55:29	床例は、
00:55:31	87 ページで、
00:55:34	断層を挟んで速度構造が変化する状況は認められないと書いてあるん ですが、
00:55:39	何となく認められない。
00:55:42	ていうか、断層の東側が低下してるように見えるんですが、
00:55:49	あまりなお書きなんで、あまりその重要ではないかもわかんないん ですが、
00:55:58	そこで、天井構造が変化する状況は認められないとまでは言えないの ではないかと思うんですが、いかがでしょうか。
00:56:09	はい。北陸電力の小林です。90 ページの方の、
00:56:14	グラフィの結果ですが、こちらですね、
00:56:19	加速度のコンターの方見ていただきますと、300、失礼しました。3500 の線ですと、確かに福田断層のすぐ東の方で少し、
00:56:31	青本上といいますか、下がる傾向はありますが、もう少し浅い 3000 だ ったり、2500 の方を見ますと、こちらの線は、
00:56:42	比較的、
00:56:43	水平からむしろ
00:56:45	技師が、失礼しました東側が少しいるかがあるような方、次、それから 後、系統的にクーランス砂岩で挟んで、
00:56:56	東側遅くなるとか、そういった傾向はないというふうを考えまして、
00:57:03	断層を挟んで速度構造が変化する状況は認められないというような記載 をしております。以上です。わかりました。そうすると 3 例えば 335 ペ ージだと、
00:57:13	その 4000 メートルの S 波速度かなこれ、4000 メートルはこれ、こんだ け大きく変化してるんですけど、そのより浅いところは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:57:23	比較的それが緩やかになるような変化になってるんで、
00:57:30	何となくそれを、
00:57:32	考えると、
00:57:33	このぐらいの変化だと。
00:57:35	その上の方は穏やかにやってもいいのかなとは思いますが、いかがでしょうか。
00:57:44	北陸電力の小林です。335 ページ、土岐岩永断層の方、こちら確かに
00:57:53	4 線の線を見ますと、非常に断層の上盤側りに凸という、
00:57:59	状況が認められます。こちらにつきましては
00:58:02	3500 でありますとか、3000 のところも、
00:58:07	今おっしゃいましたように、緩やかではありますが、
00:58:11	やはり、
00:58:12	基本線と同様に、
00:58:15	みんな何とかですね。
00:58:17	測線の右側の方が、
00:58:20	あれの傾向が認められると。
00:58:22	ということになります。また、4000 の上がり方も、かなり顕著に上がっているように見えるというふうに考えておまして、
00:58:32	その点先ほどの福浦測線の速度構造とは違うのかなというふうに考えております。以上です。
00:58:41	わかりました。
00:58:44	あと、もう一つ質問がありまして、
00:58:51	段丘の例えば、197 ページとか、
00:58:57	182 ページ。
00:59:00	の、谷地形の地形断面図は入ってあるんですけど、その断層の挟む谷地形の比較。
00:59:11	250。
00:59:15	例えば、252 とかそれ以降だと、この横棒よこせっていうか、このが入ってて、見やすいというかそうなるんですけど、
00:59:27	こちらもちよっとこの横線を入れていただいきたい、このないんで、ちよっと見やすさの観点から、横尾線を
00:59:37	入れていただきたいと思うんですがいかがでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:59:43	はい。北陸電力の野原です。182 ページ等そういった他の地形断面図につきましても、252 ページと同様、東横線の目盛り入れたいと思います。
00:59:53	以上です。よろしくお願いします。
00:59:56	私からは以上です。
01:00:04	市長の野田ですけど。
01:00:06	今原田さんの方から言ってもいいかな。9 ページを、
01:00:12	に基づいて、福良断層の傾斜角 60° のところを少し事実確認させていただいて、これについては、当方からのコメントに対応する形で、ここでは、
01:00:24	回答を示してもらっているんですけど、
01:00:29	ここは、
01:00:32	地震動のところに行って、議論する。
01:00:35	ところなんで、現時点の御社の考え方っていうのは、周知というか、はい。聞きおくということなんですけど、一応地質ガイドの震源断層の評価、
01:00:47	の項目の中では、震源断層の位置、形状等は、調査結果から判明した長さ。
01:00:54	及び断層傾斜角等に基づき、調査の不確かさを踏まえて設定されていることを確認すると書かれているので、基本的には調査結果、
01:01:04	から、
01:01:06	我々は確認していくということで、具体的には、215 ページですかね。
01:01:12	ここに福田断層の傾斜角についてということで、右側に表があって、露頭で確認したもの、あとは反射法で確認したものってあって、
01:01:24	吸って例えば
01:01:25	反射法で見て、確認したものを試してみても、結構広角なんですよね。
01:01:33	うん。赤いところを、
01:01:36	少なくとも、60 度ではなくて、65 度以上。
01:01:41	あるわけなんですよね。
01:01:43	他方でご説明あった通り、この辺の地質構造の
01:01:51	特徴っていうんですかね、
01:01:53	とか、逆断層で動き得る、
01:01:58	傾斜角ですかね。そういうことを踏まえて、60 度と、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:02:03	いうお話があったんですけど、いずれにしても、ここは金田さんから も、震源断層の
01:02:11	面積が広いとかですね。
01:02:13	逆にこれ寝かせるよりももしかしたら広角にした方が、
01:02:17	例えば地震動評価上安全側になるのであれば、例えばそういう考え方で 設定するということもあり得ると思うんで、ありがとうございますコメ ント回答としては、現時点では御社 60 度ということは承知したんです けど、いずれにしても、
01:02:33	これは確定情報じゃなくて、地震動評価のところですね、
01:02:37	全体、
01:02:39	を見ながら、傾斜角、何度か、一番その安全側に評価できるのかという 観点で、議論させていただければと思います。以上です。
01:02:52	北陸電力の藤田です。
01:02:55	沼尾さん、確認のコメントありがとうございます。
01:02:59	ガイドの図、
01:03:00	精神からいくと 215 ページにここは調査結果と地震動評価の、
01:03:06	60 度と同じような、同じ四角でちょっと書い
01:03:10	てますんで、
01:03:12	ここはあくまで地質構造ということで、最初に調査結果がどうい結果 があったかというのを目に書いて、
01:03:18	なお書きなり参考で地震動では、
01:03:21	こういう考えでやる予定ですっていうような感じでちょっと、
01:03:25	重みを変えて記載させていただいた方がいいかなというふうに感しまし たのでそういうふうに対応したいと思います。
01:03:34	規制庁野田ですけど藤田さんありがとうございます。一応私は、
01:03:40	地質ガイドに書かれていることをちょっとベースに今お伝え。
01:03:45	したわけなんですけど、
01:03:49	いずれにしても、地震のところ議論するんで、あんまり私は地震は、 この 215 ページの記載をどうするかっていうところは、あんまりこだわ ってませんので、
01:04:00	もし、
01:04:01	今の私のその地質ガイドに踏まえ、ガイドの記載をですね、踏まえて、 もし御社の方で、少しここの 220、215 ページですかね、記載を変えら れるのであれば、それはお任せしたいと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:04:17	藤田です。
01:04:20	検討して記載の方、こちらで判断したいと思います。そういった意味では274ページは、断層も、K2の敷地内についても、これあくまで調査結果に基づく、
01:04:31	傾斜が書いてますんで、ここはやはり、
01:04:34	福田断層も同じ深さ等で確認したそういった傾斜調査に基づく調査、
01:04:41	の値を書くのが、最も確からしい比較だと思いますんで、ここについても、そういった考えで整理したいと思います。以上です。
01:04:51	規制庁野田ですけどはい。承知しました。そうですね、ご検討いただければと思います。以上です。
01:05:00	はい。規制庁の大井です。引き続きですねちょっと前後して申し訳ないですけど、断層をのちょっと地形面の
01:05:08	変位の有無による評価についてちょっと確認させていただきます。204、250ページをお願いいたします。
01:05:19	はい。ここでですね地形面いろんな断面で切っていただいて最終的なこの火福浦断層と断層のヒコウの平均値。
01:05:29	ということで、一番下のところに公表が書かれていて断層が地形面で0.5、3番目で0.09と。
01:05:38	福浦が2.55、3.03というふうに同面とか、銅板とか坂野
01:05:45	飛行の差っていうので
01:05:47	比較されていて、
01:05:49	福良に見られるような数メートル程度の地形面等ですね高度差が認められないっていうのが断層の結果だと、いうことはわかったの書かれてる内容はわかったんですけど、
01:06:01	えっとですね、これ、一部中、これ、注釈4ところでいろんなデータがいくつかあった上で何か、
01:06:11	一部のデータは差っ引いて、例外的なデータなので、
01:06:16	除外しているというふうに書かれてますけど、
01:06:19	ちょっと具体的にこれ、どのデータを使ったのかなというのが、ちょっとぱっとわからないので、
01:06:24	よければこれ、どのデータを平均値で、どのデータを、
01:06:29	元に平均した出したのかっていうことは、
01:06:35	今、ご説明できるんだったら、ご説明いただいたりし、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:06:39	記載も次回以降していただきたいなというふうに思うんですが、いかがでしょうか。
01:06:46	北陸電力津守です。
01:06:48	大井さんから
01:06:50	説明ありましたように、この※4のところですね、幾つかデータとして除外してるものがございます。それ具体的に言いますと、この250ページの上の、
01:07:00	図でいきますと、
01:07:03	D1D1'断面、
01:07:07	※2というふうに言っている。
01:07:09	この場所の、地形の標高、
01:07:13	地形面と、岩盤上面、この二つのデータ。
01:07:16	C1C1'断面、
01:07:19	そこから少し二つ右に行きまして、その上の方に白抜きの越智、岸イキダシラーメンの赤丸がございます。
01:07:29	これが1件目の評価を引き、飛行になりますけれども、このデータ合計三つのデータを除外しております。理由としましては、右の方に書いてあるんですけれども、
01:07:39	まずD1、B1'断面、こちらにつきましては、
01:07:47	252ページお願いします。
01:07:54	252ページ見ていただきまして、このD1D'断面につきましては、
01:07:59	失礼しました251ページで、この断面の設定の考え方をご説明しておりますが、D1D'断面は、旧汀線
01:08:10	と概ね平行になるような断面にこの段サイズやさ、施工年度を用いて設定したためになります。
01:08:18	で、こういうふうに旧汀線に平行な断面という考え方で設定した。
01:08:24	後ですね、今度は逆に吹く後の関係という感じで見てみますと、
01:08:28	AとD、理事とその'のついてる越冬側でいきますと、
01:08:33	断層の上盤側に当たります。
01:08:35	東側の方が福浦に、
01:08:38	かなり近く建設してまして、逆に西側断層の下盤側につきましては、その福浦の
01:08:44	影響を、がほとんど受けてないような非常に離れた場所の地点の標高を企画しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:08:52	こういったことから、この飛行というのが、
01:08:55	断層法、
01:08:57	による飛行という観点で先ほどの数字ですね、150 ページのこの、
01:09:03	ヒコウの平均値として入れる。
01:09:05	とすると、他のデータは断層を単体で考えた時のヒコウ。
01:09:11	福良もそうですけども福浦単体で考えたときの比高というのを、平均値で比較してみようという考え。
01:09:16	なのですが、今の衛藤利一'断面ですと、
01:09:20	そこだけ福浦の影響も入ってしまった、その断層を引こう。
01:09:26	表してることになります。ですので、断層を単体副断層単体というものの、飛行の平均値を出すにあたっては、こういった片方だけが、
01:09:37	福浦の影響を顕著に受けているというこういうデータは、除外し、するべきだということで、今回この dt1 '断面につきましては、土地賢明岩盤上面両方のデータを除外しております。
01:09:49	あとはもう一つですね、C1C1 '断面、こちらは地形面のデータだけ除いておりますけれども、
01:09:56	こちらまずその断面の設定としましては 251 ページで、その旧汀線に平行な方向に設定したためになります。
01:10:06	で、この断面です、253 ページ。
01:10:10	の方に今※3 という形で、断面図の上から三つ目ですね、C1C 千田斜面と、
01:10:18	書いてありますけれども、ここの
01:10:22	東側、左側のところの、58.7 メートルという、地形面標高のところ※3 と打ってまして、本地点は人工改変等の影響により低くなっていると考えられると。
01:10:35	いうふうに注釈を打っております。
01:10:37	これ具体的にはですね、補足資料の方見ていただきたいんですけども、
01:10:43	補足資料の、
01:10:48	2.2-1-77 ページお願いします。
01:10:53	2.2-1-77 ページになります。
01:11:02	こちらが今ほどの、C1 '断面で、※3 と注釈を打った地点のデータになっておりますけれども、左下の方に、こちらの、
01:11:13	調査地点の連系写真をつけておりますが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:11:17	こちらですね、
01:11:19	少し改変された道として流された場所で、採取したデータになっておりまして、右上の柱状図見てみましても、上の方は人工改変度になっておりまして、人工改変を受けている。
01:11:32	であろうというデータが獲られております。
01:11:36	ただ、ということで、その地形面につきましてはそういう改変の影響を受けていると考えられますので、今回のこの
01:11:44	機構の平均値のデータからは除くという方、考え方で、このデータを除いております。
01:11:50	この時点につきましては人工改変の下にですね、敵まじり左室シュートという形で、堆積物は載っておりますので、岩盤上目のデータとしては、これ改変を受けてない標高。
01:12:02	値として使えるだろうという形で、このN地点につきましては、地形面標高はちょっと改変の影響を考慮して抜いてますが、岩盤上面については、
01:12:12	平均値のデータとして用いております。
01:12:16	今ご説明したような話がですねもう少しちょっと 250 ページで読み取りづらいところもありますので少しそのあたりは対応がつけられるように、少し工夫を考えたいと思います。
01:12:27	以上です。
01:12:30	はい。規制庁の大井ですご説明ありがとうございました。
01:12:33	はい当間
01:12:36	そうですね 253 ページの、特に人工改変等というところについては、
01:12:41	そういう、
01:12:44	補足にですねそういう円形写真とか、ちょっとエビデンスとは言いづらいかもしれませんがそういうのがあったら紐付け、
01:12:51	していただくと助かります。で、もう 1 点 252 ページの D1D 種 dt'断面の、
01:13:00	東側の、この福村断層の影響ということですけど、
01:13:04	これってちょっと僕、教えていただきたいんですけど、福浦断層が近いから、
01:13:12	高くなって、フラダンスが西に傾斜していて
01:13:17	その影響を受けて高くなってるということなんでしょうか、それを、そういう、そういうのはですね 255 ページで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:13:28	どこだかな。
01:13:30	同じ、同じ段丘面のところで、
01:13:33	福浦の福田を挟んだヒコウの差っていうのを、例えばJJ'断面とか、
01:13:39	で比較してそれはまあ、宇和盤に比べて下盤側。
01:13:43	1.2とか岩盤上めで2.4って書かれてるんですけどこの程度の、
01:13:48	は坂野上がりということなんですけど、一方で252ページ
01:13:54	断層を挟んでこの
01:13:56	西と東で、
01:13:58	その10メートル、
01:13:59	近くその東側が上がってること福良だけの
01:14:03	理由っていうのはちょっとあんまりぴんとこないのと、
01:14:06	あと、すみませんなんか引き続けたもんですけどこの252ページのd'断面でも、
01:14:13	えーっとですね同じようにその段丘面のこのをっていうところですね。
01:14:17	短期目のマルをっていう、これも同じような理由で、高久の福良の影響を受けている、すみません、断層を挟んで東側が、
01:14:28	担当側が福田の延期を受けていて、
01:14:30	西側受けてないのにこれは採用しているというふうになにかちょっとこう、
01:14:34	統一感が少ないなっていうところと、今の中、
01:14:38	福村の影響って何なんですかっていうのがちょっと、あんまりぴんとこないところでもう1、再度少し、
01:14:45	ご説明いただきたいんですけど、よろしいでしょうか。
01:14:50	はい。北陸電力津守です。まず255ページこちらの福浦断層を挟んで分布する地形面の断面図になっておりますけれども、これで言います3JJ'断面ですとか、KK'断面、これが、
01:15:03	先ほどのその袋の影響を受けているといったところの、このと書いてまず、段丘面調査データ。
01:15:10	これは載ってる場所になりまして、こちらにつきましては、先ほどのヒコウの平均値に用いております。なぜ用いることができるかといいますと、これは断層をの
01:15:21	上盤側で、
01:15:23	上盤側同士のデータで勝福田断層の
01:15:26	上下盤の比較的、比較を行っているので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:15:31	これは福田断層単体の
01:15:34	もの。
01:15:35	機構といいますか、これは断層の影響を考慮することができるというふう に、評価しましてこの JA' ですか KK 出しというのは、
01:15:43	同じこのデータですけども、評価に用いることができると考えてい ます。
01:15:48	で、もう一度先ほどのちょっと繰り返しになりますけれども、D1D1'断 面 A と 252 ページですが、
01:15:55	こちらにつきましては、
01:15:57	この D 値'断面の設定、
01:16:00	の考え方というのが旧汀線に、概ね平行な断面線という考え方で設定し たというところもありまして、福田との関係というところは一つ考慮に 入っていない断面性になります。
01:16:11	蔵田の関係について考えたときには、まず断層の、
01:16:16	を挟んで 4 番と下盤での飛行という観点では、比較できてるんですけれ ども、
01:16:23	東側の今野というところが、非常にこの福田のすぐ直近貯金といいます か、すぐ横の
01:16:31	ランキングになっておりまして、ただ、一方この西側の下の方の今、
01:16:36	逆に用いている M という場所ですね、こちらについては、今度は福田断 層から、非常に離れた場所に、
01:16:43	一致した段丘面での、
01:16:46	段丘面、データになっております。
01:16:49	やはり断層から近いところの方が非常に強くその隆起、隆起といいます か、
01:16:53	断層の変位の影響を受けるというところもありまして、片側、すぐ直近 の片側、距離としてもかなり離れているというところの比較になります ので、
01:17:03	ここは少し
01:17:04	そういったことのところの影響でこの地形面ですか岩盤上面の非行兆 候が非常に大きくなったのではないかと考えております。
01:17:13	ここが
01:17:15	150 ページの上の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:17:18	この飛行を整理した図で見ますと、この※2と書いてあるリーチ断面でここだけは非常に、
01:17:24	高く出ていることになっております。
01:17:27	全体を見て、不検出で見ますと、このコメント書いてある理事者が非常に
01:17:35	ジーダッシュためらした値からG'断面までの様々なこういう断面切っ て見てみましても、この地点だけやはり少し特異な形でポンと跳ねてい ると。これが断層の
01:17:45	福田の影響だけにちょっと大き過ぎないかというようなお話ありまし たけれども、鷲見断層の影響があるのであれば、ここだけではなくてその 前後等ですね、D'断面ですとか、E'断面とか、そういったところにも やはりそういう兆候が見えるだろうと。
01:17:57	考えられるんですけれども、そういうものがないというふうにする と、やはり断層の影響はここで受けていないんじゃないかというふう に評価をしております。以上です。
01:18:10	規制庁の甲斐田です。私もちょっと今の説明で同じ観点でちょっと確認 をしたかったですけれども、
01:18:18	多分同じことになると思うんですけど、例えばその252ページの段目 を見て、平面ですねまず平面見ると、
01:18:29	D1D'リーチ欄、D1断面の方は得意なところと、Dは特にそういう注 釈書きは書いてない。
01:18:43	ということなんですけど、dt'もD'もほぼ同じ場所で、dt'がこうなん ですか福浦の影響を受けてるっていうのであれば、
01:18:56	そのD'だって同じように影響を受けてるっていう、何か注釈がついて くるのかなと思ったんですけどそういうのがなくて、D'の方は、D断面 の方は、
01:19:07	左右でこう、そろっているというような断面になってます。dt'の方 だけ、何て言いますか、D'とdt'てほぼ同じところなんですけど、D1'の方 だけ
01:19:20	何か特異な、というのがあるところをちょっと確認したいんです ね。
01:19:25	ていうのはこの断面図見てもD1'もD'も、
01:19:32	ほとんど高さが変わってなくて、むしろ
01:19:37	D1の方側が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:19:41	何かかなり低いって言うそっちの方が、D と D、D1 断面を比較すると、
01:19:49	'がついてるかっていうのは別に、
01:19:52	へ影響なくて、
01:19:54	'がついてない、左側の李とかリーチの方見ると、D1 の方が何か、
01:20:00	特異的に低いようにも見えるので、ちょっとその点を確認したいというところ、それとあともう一つその
01:20:08	255 ページぐらいで、
01:20:12	福浦の影響というのもし検討してあるんですけども、
01:20:17	そこまで変位量福浦自体の変位量というのは、進ん
01:20:23	でないというか、あるにはあるんですけども、252 ページで見ると、D 値'
01:20:30	リーチ断面見ると、基盤の高さで、
01:20:35	七、八メートルの薄さがあると。
01:20:38	福浦の影響を受けてるって言う割には、福浦自体が多分そんな七、八メートルもない中で、
01:20:44	影響を受けてるっていう方がこれだけ
01:20:48	うん。
01:20:49	何て言いますかね、あるっていうのが、
01:20:52	ちょっとその辺のところの事実関係っていうか、考察がちょっと確認したかったんですけども、もう一度よろしいでしょうか。
01:21:04	はい。北陸電力坪井です。
01:21:06	まず、B' 断面と D1D1' 断面のこれらの違いについてですけども、先ほどご説明しました D 値'断面福良の影響というのが
01:21:18	片側のみが顕著に受けているというところで、上が片側のみが顕著に影響を受けているということが、その除外した理由になっておりまして、
01:21:26	この D'断面を見てもみますと、こちらはですね、もちろんその D'の方は、
01:21:33	変わらず同じ点なので、近いんですけども、D の方も、この同じ A1B 面の中、同じこの面の中では最も福田に近い辺り、
01:21:45	の標高がわかるような断面取り方をしております。
01:21:49	なのでフラットな距離感というところも含めまして、新居千田氏ですと、この方が非常に膨らみ近くでもう片側切り離れていると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:22:01	で、逆に B' 断面は、同じこの面の中で最も福田に近いところ同士とい いますか、なるべくへ、福村の
01:22:08	宇和版でもその
01:22:10	距離感もかなり福田に近いところ同士で議論ができるような断面を今回 とってますので、そういった意味でこの D'断面は、
01:22:19	断層、大野福良の影響が極力除かれた断層をによる影響を、
01:22:25	考慮することができる断面だというふうに考えて設定しております。
01:22:29	今ほど先ほど甲斐田さんからもありましたけども福浦の影響が 3 メー トルから数メートルっていう、
01:22:35	というところに対してこの
01:22:38	A と D1D1' 断面、非常に大きいというところで、確かに D1 の方が、
01:22:44	この
01:22:46	岩盤上面評価でも 7 メートルという高さがあって、先ほどの福浦の影響 という考えでも確かに大きいなど。
01:22:52	考え、思いまして、これが
01:22:54	1'の方が膨れによって上げられたっていうだけという、
01:22:58	そのほかにも、
01:22:59	この D1 の方が何かの改変等の影響で、ちょっと低いという可能性もあ りますのでちょっとそのあたりもう少し検討したいなと思います。
01:23:09	いずれもちょっと我々の評価としましては先ほどもお伝えしましたけれ ども、これ 250 ページのような整理をした段階で、この D1' 断面のこ こだけがちょっと特に高いというところが、
01:23:20	ありますのでやはり断層を、
01:23:22	の影響でがあるのであれば他のところの面も系統的に高いだろうという ふうに考えられますが、それがないので、やはりこの、
01:23:30	リーチ'断面で、非常に福浦の
01:23:34	による影響を、
01:23:36	超えるような飛行が見られるところは、これが福村+断層というより は、福浦プラスちょっと比較して理事の方が何かしらの影響で、比木低 い。
01:23:46	低くなっているのではないかとということも考えられますので、ちょっと そういった形で、検討を行いたいと思います。以上です。
01:23:53	北陸電力の野原です。少し補足させていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:23:57	今ほどの津守から言った通り現状の資料は松森から言った通りの考え方で、そもそも作成しました。
01:24:04	ただ今ほどのご指摘の通り、例えば今田断層を横断する断面の設定にあたって、
01:24:11	例えば福田断層からの距離ですとか、
01:24:15	あと、呼吸旧汀線自体もちょっと入り組んでいてややこしいところですので、旧汀線からの距離、そういったことも加味しまして、どういった考えで断面を設定したか。
01:24:25	どんな影響が考えられるかということも、しっかり資料に記載をしまして、改めて説明させていただきたいと思います。
01:24:33	以上です。
01:24:36	甲斐田です。わかりましたちょっと、そうですね今いろいろご説明いただいたんですけど、今の説明だけだと、
01:24:47	なかなかわからないのと、
01:24:49	うん私申し上げたんですけど、D1'もD'も同じ場所によって、D値の方、D1'の方だけなんでこういう注釈がつけてあるかどうかという、
01:25:00	ところもわかりわかりづらいと。今の話だと実は、
01:25:05	Dも何か影響受けてるかもしれないという。
01:25:07	ようなお話もあったんでその辺もそうなんであればっていうの、説明を加えていただきたいなと思います。
01:25:17	A 真野 D の話が 252 ページで、D、D の高さっていう名前の、
01:25:23	岩盤で 54.7 か 56。
01:25:27	十分ぐらいになって、地表で 56 ですか。
01:25:31	で、
01:25:32	245 ページの、
01:25:36	旧汀線のところ見るとこれジャスト D のところじゃないんですけども、D のちょっと、
01:25:42	飯山側のところになると思うんですが 58.2 と 50。
01:25:49	基盤所。
01:25:51	旧汀線が 58.2 で、
01:25:56	ちょっとあれか。
01:25:58	緑色の字はこれ 58.0 って書いてあるのかな。
01:26:01	いずれにしてもこう、
01:26:04	D のところっていうのは、54 か 58 かは置いといて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:26:09	旧汀線をずっと追っていくと福浦断層から離れていく方向にいても、
01:26:18	ここなんていいですかねそんなに 63.7 とか 57.7、59.7。
01:26:26	という数字だったりして、
01:26:28	そのさっきの D2D に近いところ、
01:26:32	58.2、この辺りが D はもうちょっと低い 54 ぐらいだったんですけど、この辺りが旧汀線を見ても福浦の影響を受けて、高くなってるというふうにも、
01:26:43	もう少し読み取れなかったので、d まで一緒に高くなっているというような説明だったんですけどそれちょっとこういったところで広い範囲も見た上でちょっと検討。
01:26:55	結果を示していただきたいんですけど、よろしいですか。
01:27:04	はい。北陸電力驚見です。
01:27:06	この B のところ、
01:27:09	これが今 50 そうですね旧汀線のところで 58 というところで、
01:27:14	この D も D' もその膨れとの距離感というところで両方とも、復元と同じような影響を受けているというふうに評価しておりますここら辺が、今ほどの 245 の旧汀線ですとか、こういった広い範囲での、
01:27:26	解釈も含めて、
01:27:29	それを考えがちゃんと書けるように、資料の方に追記していきたいと思えます。以上です。
01:27:35	甲斐です。ではよろしく申し上げます。
01:27:42	規制庁の大井ですけど、もう 1 点すいません地形面に関してなんですけど 251 ページでちょっとこれ、事実確認なんですけど、先ほどからも説明がある。
01:27:53	通りです説法メンズとかで、
01:27:59	とか、引き方断面図の引き方で AB とあって、今は B の方が、福浦断層、
01:28:06	その影響がない断面ですがって話ですけどこれは前回の会合でも多分あったし、断面だと思うんですけど、
01:28:15	恒設面で見るとかなりこう、例えば CC' 断面とか、今話題になった D' 断面とかは、
01:28:25	当時の地形ですかねその高いところと低いところっていうのがもう明瞭に見えている。
01:28:31	ものなんですけど、これの影響っていうのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:28:38	考慮されないとか
01:28:41	どうお考えなんですかね、ちょっとすいません、ちょっと質問で申し訳ないんですけど。
01:28:46	これ前回の指摘でもあるのでちょっとその辺、ご回答いただけますでしょうか。
01:28:52	はい、北陸電力津守です。
01:28:54	まずこの A と B それぞれについてご説明させていただきますけれども、まず A につきましては、これ 1 回ごとにご指摘いただいた通り、段丘面、海側に向かって緩く傾斜していきますので、
01:29:06	これ、
01:29:08	高いところ低いところを比べてしまうと、もともと高かった比嘉田井っという言葉が違うところを比較していることになってしまいますので、旧地形の
01:29:18	海岸の旧汀線の位置がわかるような形でこの段サイズですとか、
01:29:23	ちょっと面図を用いて、旧汀線に概ね平行の方向で断面性を設定しております。
01:29:29	で、
01:29:31	ただこちらの A につきましても、先ほどもちょっと議論の中で出てきたんですけど、けども、こういう旧汀線に平行という観点で設定した場面である。
01:29:40	ことによって、福村断層、
01:29:43	との距離感という形で、片側が福村。
01:29:47	に近くても片川福永非常に離れているといったような、そういった断層による影響というところ。
01:29:54	を考慮できていない断面、
01:29:57	になってる可能性があります。
01:29:59	一方 B ですけれども、こちらについては今度は先ほどの、その決定の部分断層による影響というところを極力排除するような形で、この cc' ですか、D' というような形で、
01:30:12	設定していますただこちらについては欠点としては、もともと段丘面の上に向かって傾斜している、高いところと低いところを比べてしまっている可能性があるかと。
01:30:22	そういった、とけ。
01:30:25	懸念もあります。A、B 両方ともそういったようにですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:30:30	懸念があるので AB 両方とも断面を作ることに作って、これらについて総合的にどうだということを、幾つも断念切って考えることで、
01:30:43	ただし、その評価断層が実際に断層を挟んで、高度差があるのかどうかということが、様々な観点から比較できるという、そういう考えで、AB 両方の断面を設定させていただいております。
01:30:55	以上です。
01:30:58	規制庁の大井ですご説明ありがとうございました。設定の最初の考え方どちらも欠点、利点があるということについては、よくわかりました。一方でその結果として結局その
01:31:10	福浦による影響があるから除外するとかそういう、
01:31:15	結果では何か
01:31:17	福浦の方を
01:31:20	よく、その影響を除外してこういうなんすか、段丘面の元の分に緩く傾斜っていうのは、除外していない。何かその辺の、
01:31:29	使い方が、結果では何かちょっとなんか見え、よくわからないなっていう疑問は持っ
01:31:35	ておりますが、当初のですねこの設定の考え方については理解できました。
01:31:46	甲斐田ですけれどもちょっとこの 251 ページの図の見方を私もちょっと気になったんで教えていただきたいんですけどまず、
01:31:55	ダウンサイズとかこの説法メنزっていうのは、何の地形を使って、
01:32:01	現地形のあれ説法メنزとかなんですかそれとも何か基盤城面、
01:32:08	何かコンターの使ったようなもん、どちらですか。
01:32:14	中部電力津守です。こちら旧地形、
01:32:17	になってまして、コンセプト案サイズ、説法メنز両方ともその地形面、
01:32:22	岩盤上面じゃなくて地形面の、旧地形のデータから作成しております。以上です。
01:32:28	わかりました。わかりました。
01:32:31	それでちょっとさっき大井も言ったかもしれないんですけど例えば説法メنزのところで、
01:32:39	ACC 脱臭とかは、この図を見ると、
01:32:44	何て言いますかねかなり急な月 9 社名をもうほぼ斜面に直交するような方向で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:32:52	切ってるような、大局的な地形に対して、かなり傾斜法を持つような方向に切ってる画面になってると、
01:33:03	D'も、
01:33:05	へえ。
01:33:07	半分よりは、
01:33:09	西側ですかね、半分より東側部分は、
01:33:13	ちょっとこう平らなところなんですけど、西側部分はこう、
01:33:17	急激にこう高くなるようなところがとこう。
01:33:21	高くなるような地形のところを切ってるというふうに見えるんですけども、
01:33:28	次のページ、
01:33:31	とか、
01:33:32	を見るとそのCもDも、
01:33:36	うん、だから結局そうではなくて、大局的な地形は説法見ると、こうき斜面急斜面を、
01:33:44	切ってるかのようにも見えてるんですけど、
01:33:47	実際のこの段、250人213の断面だとそのC、Dというのは、
01:33:54	高さが同じような、
01:33:57	になってるんですけどもこの辺はちょっと大局的な地形のこの地形とこの実際のこの段丘面の高さとの違い、うん。
01:34:08	断面で、んどどういう関係になってるのかっていうのをちょっと教えていただきましたかったんですけど、
01:34:17	私の方のこの1000本目の見方が違ってるのか。
01:34:21	ちょっとその辺の状況を教えてください。
01:34:26	はい。北陸電力の野原です。
01:34:29	江藤。
01:34:30	このもともと251ページの説法メールといいますのは、断面の設定の考え方のマルA、
01:34:38	上の白丸の断面性を設定するにあたって作成したのになります。したがって、マルAで、
01:34:46	作成した断面AといいますとAですがBB、C1C1、B1、
01:34:53	一位、FFジージー。
01:34:55	これらを設定するにあたって、この説法面図を作成しましてそのコンターと平行になるものという観点でこの説法面図を作成しました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:35:04	一方で、我々もともとはこの説法面図よりも、もともとの見えている地形というものを重要視しております。従いまして251ページで言いますと段丘面分布図ですとか、
01:35:15	高さに特化して見やすくしたこの段サイズ、こういったものを重要視しております。
01:35:20	で、先ほど、このマルAと丸Bそれぞれの断面設定するにあたって、どちらにも欠点があるということをおっしゃっていましたが、
01:35:30	丸栄の欠点を補うために、福浦断層を横断しない、A断面ということでCCDDEというものを、マルBの考え方を、マルBの考え方として作成しております。
01:35:41	それを作成するにあたっては、説法メンスというものは、特に考慮しておりませんで、次、もともとの地形標高段サイズ段丘面図で見てわかる通り、
01:35:52	こういった谷を横断して、その両側に分布する段丘面を横断するように、測線を設定しております。
01:35:59	従いまして小沼説法面図を見たときに、CCですとか、DD、こういったものが今回に、特に急斜面のところを切ってるんじゃない、来てるんじゃないかと。
01:36:09	いう誤解が生じますので、
01:36:12	例えばこの資料を作成するに当たりましてこの施工面図のところは、
01:36:15	このマルAの考え方の測線をまあ少し国、政府丸Bの測線の考え方の測線を薄くするなどしまして、
01:36:23	この説法メンスをどういう考え方で利用したかというのがわかるような資料作りに資料作りをしていきたいと思っております。
01:36:33	以上です。これでわかりましたでしょうか。
01:36:36	甲斐田です。はい。考え方は背反のABでええの分、方に使うためのものだっていうところ承知してます。
01:36:47	それはすそそれとしてこれ途端に
01:36:52	何て言いますそれがいい悪いとかいう話ではなくて、まずは今の形でちょっと、
01:37:01	分別したような形の表記にさせていただくのはそれでお願いしたいんですけど、シンプルな疑問で例えばC、C'なんていうのは、
01:37:12	切る方向のコンセプトは別として、
01:37:16	大局的な地形面だと9、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:37:20	急崖を、になるようなところなのに、実際に切った断面は、ほぼ平らになっているというこのなんていいますか大局的な地形と実際のが、
01:37:30	どうも合ってなさないように見えたのはこれはどういうのを背景があるのかなというそこなんですけれどもそこは特に、
01:37:41	そんなもんなんだっていうことなんですかねこれ、最極的な地形じゃあんまりこういった断面の、
01:37:48	細かいところは見れないんっていうのかちょっとそこのこの両者がきちり合っていないように見えてるところが、
01:37:58	確認したかったんですけれども。
01:38:02	はい。北陸電力の野原です。
01:38:05	説法面図を作成するのです。
01:38:08	野瀬方面の作成にあたりましては、
01:38:18	すみませんちょっと音声が二重に聞こえてましたので、今こちらの声は届いてますでしょうか。今そうですねちょっと位置が違うので、こちらの公園、
01:38:31	プロセスが、
01:38:33	はいこちらは今ですね二重になったりして、もう一度お願いしますっていうふうに、ようと思ってたんですけど、今聞こえるようになりました。どうですか、聞こえていますか。
01:38:47	今はっきり聞こえております。
01:38:50	説明続けさせてもらってよろしいでしょうか。はい。聞いております。はい。お願いします。続けさせてもらってよろしいでしょうか。
01:39:04	どうぞ。グリーン電力のは、野原です。
01:39:07	説法面図の作成するにあたりましては、約 300 メートルのメッシュを作りまして、そのメッシュの中の一番標高の高いところを、
01:39:18	結んで、
01:39:20	この施工面図を作成していきます。
01:39:23	そうしますと、この施工面ずーとその左側、真ん中に書いてありますこの
01:39:28	地形標高段サイズ見比べていただくとわかりやすいんですが、
01:39:32	それ飯 300 メートルのメッシュの中に一番高いところがあれば、それよりも低いところは、ないものと、いうような形で、尾根を繋いで、こういった谷を潰していくような形で、
01:39:45	ネオス図面を作成していきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:39:48	そうしますと、今この例えば大坪川ダムがありますこの大坪川などは、
01:39:54	これ埋まってしまっていて、
01:39:56	尾野だけを繋いでいくと、このように説法面図としては、このような見方をしておりますので、
01:40:03	大局的には何か真ん中の何サイズと違うように見えるかもしれませんが、大局的にはあるかもしれませんが、何がなくなったと思っていただければ、
01:40:14	この右側説法メンズのイメージと、概ね合ってくるのではないかなというふうに、そういったものではないかなというふうに、いかがでしょうか。
01:40:27	甲斐田です。はい。岡嶋下の 300 メートルの壜丸の中で、高いところをつなぐ繋いだもんな。しないだっというかそれを使ってつくるものという事で、
01:40:40	わかりました。
01:40:42	そういった関係で、
01:40:46	説法メンズと実際の
01:40:49	断面図の、
01:40:52	高さが違うの傾向が違ってきているように見える場合もあるっていう。
01:40:57	ことかなと思いますんでわかりました。ちょっとそこはまたこちらの方にもまた資料を確認してみます。
01:41:05	以上です。
01:41:12	その他、審査側から地形断層に関して、
01:41:18	ございますか。
01:41:28	甲斐田ですけども、よろしいですか。聞こえてますか。
01:41:34	はい。消えておりますが。はい。ちょっと私も、
01:41:38	何点か確認。
01:41:40	断面図のところで 252 から 254。
01:41:46	とかで、
01:41:48	と、
01:41:54	いいとか、
01:41:59	2、
01:42:00	何床ですからいいとか、D ワンとか E ワンっていうのは、
01:42:07	おんなじ段丘面のところを、
01:42:12	使ってて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:42:13	C というのは何ページでしたっけ。
01:42:20	あれいいわあ、252 ページ。
01:42:24	D ワン
01:42:27	そして、
01:42:29	E ワンっていうのが、またありますんで、これ結構実際離れてると思うんですけど。
01:42:38	東映っていう形で、
01:42:42	同じ値が使ってますけども、全部の 47.7 という、
01:42:49	これは、はい。
01:42:53	これぐらい離れてたら何百メートルも離れてるようなところなんですけども、
01:42:59	実際こうこの段丘面とかっていうのを、それぐらい離れてても大体、
01:43:05	同じなんだろうっていう。
01:43:07	ていうのは、何ていうか、
01:43:10	いうのがわかっててこういうふうに、大分離れたところのもので比較されてるんですかね。そう。この、
01:43:18	へんのちょっと背景というか、教えていただきたいんですか。
01:43:29	はい。クリック電力つもりです。
01:43:31	こちらの A と E'A1'D 値で 1' のこの西側の、この案件も同じ段丘面につきましては、この M。
01:43:41	というデータを共通して使っております、
01:43:45	これは
01:43:47	距離として
01:43:50	まともに近いという形で、同じデータが用いれるという用いて同じ各地点の標高データとして用いることができるというふうに考えて、
01:44:01	同じデータを
01:44:04	使っております。
01:44:07	以上です。
01:44:11	はい、甲斐です。次は、
01:44:13	ここは
01:44:15	結構近いから使えるという、
01:44:20	ご飯判断があって、やってるということですね。
01:44:27	はい。
01:44:29	それ、その観点でいくとですね、例えば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:44:37	へえ。
01:44:42	ちょっと上に、C1'C1 っていうのがあって C 値は、何て言いますか、この L っていうところを使って
01:44:54	横の
01:44:57	D は、
01:44:58	A 系っていうところと、
01:45:01	ほぼ、
01:45:06	同じ場所で計の値が使ってます。
01:45:12	71 っていうのは、
01:45:15	253 ページで、
01:45:18	58.2 メートル。
01:45:22	要は、L、L 地点ですね。
01:45:25	k 地点というのが、
01:45:27	D'、特に 152 ページの一番上の武居地点というのは基盤状況。
01:45:35	高さを 54.7 メートル。
01:45:39	この C1 と、
01:45:44	D のところってこれすごい近いのに、
01:45:48	ここのあたり 4 メートルぐらい違っていると、この同じ段丘面上にさっき申し上げた ED ワン。
01:45:55	伊井湾というのがあって、
01:45:57	この
01:45:58	IK っていうのがまあ、こんだけのところで 4 メートルしか読めてる違ってんですけど、さっきの E とか D 案、B 案というのはもっと結構離れているために、
01:46:11	同じ値が使われてるのは、
01:46:15	これ大丈夫かなのかなというのをちょっと、その比較をしてみて、
01:46:20	見てたらそう思ったんですけどこっちの。
01:46:24	その辺はどうなんですか、ET から D 湾伊井湾のところまで来ると、平らになってるっていうな何かそういう。
01:46:31	何かそういう背景があるんでしょうか。
01:46:42	北陸電力津守です。まずこの L 時計この C 千田首藤 D' というところで、近い、近いところにそのデータがある場合は、そちらのデータを使うということでこの距離感でも、それぞれ別のデータ使って、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:46:56	おります。で、Lと稽古の高さという観点で、この距離感でこんなに高さがあるのに、
01:47:02	井伊'ですとか値はいいのかというところにつきましてはちょっと、
01:47:07	そういった観点でなかなかちょっと検討が減ってきておりませんで、今ほどのご指摘踏まえまして、こういったデータの
01:47:16	使い方につきましては少し検討させていただきたいと思います。以上です。
01:47:22	はいですはいわかりました。ちょっと東映のところでも今、今ほどのところの、
01:47:28	見てて、禁忌になったので、そこはもうちょっとまた、
01:47:32	何か、
01:47:34	記載等をしていただくか
01:47:38	使い方の検討っていうのがあるのであればちょっとよろしくお願いします。
01:47:43	以上です。
01:47:46	規制庁の大井です。今の点ですけど、
01:47:50	すいません、249ページで、旧汀線のこういう段丘面で、1B面でやったときに、
01:47:58	今の44'断面、
01:48:04	の、
01:48:05	あたりの話をしているのを、
01:48:08	かなっていうふうに思ったんですが、
01:48:10	その地形面が平良とか、そういう話はここで説明は、
01:48:16	できないのでしょうか。ちょっとすいません。
01:48:19	間違っていたら申し訳ないんですけど、
01:48:23	どうでしょうか。
01:48:25	はい。北陸電力の小林です。今、えっとですね、149ページの44'断面は、
01:48:36	今ほど議論になっておりました。
01:48:39	これだけ1B面の海側からこう山に登ってくる。
01:48:44	前の面がありまして、
01:48:47	これの山側部分だけを見ていると、
01:48:50	例えば、
01:48:53	252ページ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:48:55	見ますと、
01:48:58	左の方の図で、
01:49:01	⑩M と書いてある辺りよりも、
01:49:06	内陸側ということになっておりまして、そちらの断面というような、
01:49:13	位置関係になっております。
01:49:16	ちょっと別の、
01:49:19	ですね。
01:49:21	断面ですと例えば、
01:49:24	32 ページの項、
01:49:32	32 ページの、
01:49:34	CC ' 断面、
01:49:37	が、今の
01:49:38	知見を通るような断面というふうになっておりまして、ちょっと、
01:49:42	右下の方ですね断面小さいんですが
01:49:47	C'断面の 11B と、
01:49:50	いうところ。
01:49:51	開きますと、右側の方では、比較的、下手なに対して、旧汀線の方、近づきますと少し傾斜が、
01:49:59	ついて、
01:50:00	そういった状況もございます。
01:50:03	で、
01:50:04	ちょっとこういった、
01:50:06	状況も、
01:50:07	含めまして、
01:50:09	またちょっと検討させていただきたいと思います。以上です。
01:50:15	はい。ご説明ありがとうございますではまた次回、ちょっとそれ、補足せ、こちらにもですね、わかるようにしていただけると、
01:50:24	お願いいたします。
01:50:27	ちょっと知見最後、僕一つなんですけど、
01:50:31	えっとですね、
01:50:33	二つほどあるんですけどまず 255 ページのこの福浦断層を挟んで分布する地形面の断面線っていうのは、
01:50:40	これ、1、
01:50:43	算でありますけどこれって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:50:47	200、
01:50:52	51 ページの、その数欄サイズだったり施工面図で、
01:50:58	これを示す示す必要はない。
01:51:00	何か、同じような断層と、
01:51:03	福田断層で標高比較をしている観点からいうと、これも同じように単サイズとかで、
01:51:11	示してもらった方がいいのかなというふうに、
01:51:14	ふと思ったんですけど、それは何か理由があってこう示していないでしょうか。
01:51:22	はい。北陸電力津守です。251 ページここにですねこのダンススクール断層 255 ページの 1 から形の、この断面も乗せるとかなり煩雑になるという、
01:51:34	ところもありまして、この 251 ページでは断層をの活動性評価に用いる断面、
01:51:40	について、わかりやすいように載せておりましたけれども、おっしゃいます通り 255 の福浦の断面につきましても、施工面等々どういう関係があるのかというところについても、お示し、
01:51:52	した方がいいと思いますので、今後資料の方を修正させていただきます。以上です。
01:51:57	規制庁の大井ですよろしくお願いたします。
01:52:01	最後、
01:52:02	ちょっと細かい点なんですけど、253 ページの、
01:52:06	A と C は強い One'断面でこれって、C は強い One'断面というのはこう、
01:52:11	他の断面図と違ってこう。
01:52:14	屈曲しているような断面線ですけど、
01:52:17	この
01:52:19	253 ページのこの断面図を見ると真ん中に、
01:52:22	ATP。
01:52:25	何が。
01:52:26	あるんですけど、これはこの標高、これは地形面ですかね緑だから、
01:52:32	地形面標高の方は、
01:52:35	これは全く考慮してなくて、
01:52:41	何ですかね福浦の D ランクと C ランクを挟んで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:52:45	じゃない、考慮しているのか。
01:52:51	そこの 53.5 メートルのところは、何か低くなってるような気がするんですけどこれ注釈も何もなくて、
01:52:58	これは普通に見、例えば断層と、
01:53:02	この 53.5 と 63.0 を、
01:53:05	普通にこう比較しちゃう。
01:53:07	ような、
01:53:09	検討されてないようですけど、それは、
01:53:14	しなくていい理由っていうのは何でした、なんでしょうか。
01:53:24	それはちょっとわかりづらかったかもしれませんが、
01:53:27	C1C1'断面で、53.5 メートルと 63.0 メートル。
01:53:33	が、断層の北方延長挟んで両側にあるんですけど、
01:53:37	53.5 メートルの方は、何も注釈がないんですが、
01:53:41	それについてはどうお考えでしょうか。
01:53:47	北陸電力津守です。まずこの C1C1'断面の 53.5 メートルという面ですけれども、ここへ
01:53:58	一つ下に CC'断面と書いてましてここで、55 メートルこれが旧汀線付近の他の標高高さになりますけれども、
01:54:08	ここでもう少し手前になってまして、なぜこの C' の方でも注釈ありますけれども、
01:54:13	人工改変によって、下盤側の段丘面で地質データを取得することができなかったため、確認できないと。
01:54:20	いう。
01:54:21	と書いてあります通り、この面が少し細くなっているっていう形ですとか、人工改変を受けているというところも、
01:54:28	ある面であるということにあわせて、
01:54:33	地形面ですとか岩盤上面標高の比較に当たりましては、高いところ同士、これですと例えば断層を挟んで、
01:54:42	高いところ同士なので、
01:54:45	この 53.5 メートルよりも、L の方の 58.7 メートルこちらの方が高くなってますので高いところ同士での比較した飛行を示すというそういう考え方で整理しておりますので、
01:54:57	そういった 2 点ですね、改変を受けているような面であることと、より高い方のデータを使って、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:55:02	で比較しているとそういう観点で、この 53.5 メートルの
01:55:06	データをこの機構には入れておりません。
01:55:09	以上です。
01:55:10	北陸電力の小林です。すいません今、の回答に少し補足させていただきます。
01:55:17	今話題にあり、上がっておりました地形面ですね、こちらと同じ地形が、249 ページをご覧くださいまして、
01:55:28	149 ページの 5 頭目。
01:55:31	というものがあまして、こちらの 1B という面が、今ほど
01:55:39	お話しておりました。
01:55:41	地形面のところにあたります。
01:55:43	で、こちらの地形面なんですが、
01:55:48	こちら、米、
01:55:49	をつけて書いておりますが、
01:55:52	周辺の高位段丘 I 面と比較して、
01:55:55	大規模な家付近の地形が、平坦であることを踏まえると、段丘面が 2005 の侵食が改変の池を大きく受けていると考えられるということで、
01:56:05	こちらの方で、一応そういった改変の影響もあるということは、説明をつけておりますので、そちらを先ほどのページにも、
01:56:15	反映するような形で、
01:56:17	資料に記載したいと思います。以上です。
01:56:21	規制庁の大井です。253 ページにも、ご説明ありがとうございます。253 ページにもその注釈を、
01:56:28	加えていただけるようお願いいたします。
01:56:31	とりあえず私からは以上です。
01:56:39	規制庁の野田ですけど。
01:56:41	私も 255、5 ページ。
01:56:44	福浦断層を挟んで分布する地形面のところで、
01:56:48	まず 1 点確認したいのは、これは断面設定するときに、
01:56:53	福浦断層と概ね直交する方向にいつて書かれているんですけど、旧通信との関係は考慮しているかしてないか確認して、確認させてもらっていいですか。
01:57:11	はい。北陸電力坪井です。
01:57:13	こちらですね

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:57:15	155 ページの HH'、I' 新-7'につまましては、この 251 ページの旧汀線にアート説法面子に乗せましても、旧汀線と平行になるような断面を、
01:57:28	設定しております。
01:57:29	この JA'断面 KK'ダムにつまましては、これの 151 ページのような考え方でいきますと、
01:57:37	一方面図、
01:57:39	でいきますとその旧汀線と平行ではないですが、福浦横断するような断面を追加して確認したいという観点で、この JAJ'KK'の
01:57:50	については施工メソッドと平行で、旧汀線と平行な方向ではないですが、その下の三つの断面については、平行になるような断面を設定しております。以上です。
01:58:01	松森さんありがとうございます。
01:58:04	まずちょっとそういう、それは 255 ページに、
01:58:09	追記していただければと思うのと、あとは、
01:58:13	そうすつとね、この JA とか系ってというのは、旧汀線とは、
01:58:18	離れて、
01:58:19	福浦を直交する方向で切っているってということなんですけど。
01:58:25	例えば、
01:58:26	240 ページ、
01:58:33	を見ていただくと、
01:58:36	今ちょうど断層の周辺で断面を切られているんですけど、
01:58:42	例えば、それよりもっと北のほう、例えば、
01:58:47	この 22、
01:58:49	2122。
01:58:50	これ多分、高位段丘 II 面じゃないかと思うんですね両方とも。
01:58:56	例えばここなんか結ぶと、これ旧汀線とは関係なく、福浦と直交する。
01:59:04	方向の断面ということでは、
01:59:06	切れると思うんですよね。
01:59:09	こういうところを、御社がやられて、
01:59:12	今今現在は、検討の俎上に上がってないんですけど、
01:59:17	そういうところは、御社は考えられているのか、考えられて、考えられてっていうか、検討されたのかされていないのか、されてるんであれば、
01:59:27	なぜここをこういう北側のところ、特に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:59:31	何ですかね、リニアメントの信頼度でいうと、
01:59:35	こっちの北側の方が高いわけですよ。
01:59:39	ちょっとその辺を事実確認させてもらっていいですか。
01:59:46	はい。北陸電力の野原です。
01:59:48	今ほど野田さんもおっしゃいました通り、福浦断層は北側の方がリニアメント明瞭でして、
01:59:55	江藤、我々も例えば 32 ページの方に、A、
01:59:59	地形断面図載せております。
02:00:03	32 ページで言いますと、AA 断面ですとか、B 断面、こういったところが、北側に相当する位置の断面図になっております。
02:00:13	衛藤現在のところをこういった 32 ページ載せてありますような広い範囲での、
02:00:20	こういった断面図しかね、載せておりませんので、
02:00:24	当然これまでもこれまでの検討の中で、こういった段丘面の高度北川も含めまして、すべて押さえておりますので、
02:00:31	この北側につきましても、今ほど野田さんおっしゃいました⑳1 と 22 のところですか、そういったところの断面も示しまして、今後説明を加えて、
02:00:44	いきたいなと思います。
02:00:46	以上です。
02:00:49	野田ですけど、5 月のご説明ありがとうございました。ちなみに 2122 は、
02:00:57	残念ながらですね、残念ながらというか、
02:01:01	補足で補足かな、補足資料の、
02:01:05	2-2-1-4 ですかね。
02:01:10	2-2-1-4。
02:01:13	を見ると、
02:01:15	これ 20、例えばガンバ岩盤の上面標高でいうと、21 が 59.6。
02:01:22	22 が 67.6 ということで、当然のことながら、海岸線から離れれば高度化、高くなる。
02:01:33	つまり、
02:01:36	福浦の
02:01:37	西断層の西側ですね、上盤側が上がっているという傾向は、
02:01:43	見られないんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:01:45	ていうことだけちょっとおつ。
02:01:47	加味して、ご検討いただければと思います。そもそもそういう断面が切ることが適切なかどうか、御社 9、
02:01:59	汀線高度も加味しないでやられてる断面もあったり、加味してるものもあったり、そういうところの全体の整合性なんかも図りながら、ご検討いただければと思うんですけど、他方で、
02:02:11	先ほど野原さんから Head どこだっけな、32 ページか、32 ページの A、
02:02:16	地形ですかね。
02:02:17	はい。確かにこれ見ると、逆向き堤外になったりたわみの地形っていうことで、
02:02:23	はい西側が上がるような傾向が見られているんですけど、残念ながら、21 日には、そうは見えていないんで、そういうことも含めて、少し、はい、ご検討。
02:02:35	チャレンジあればしていただければと思います。以上です。
02:02:41	はい。北陸電力の野原です。2122 の岩盤上面の高さのことも含めまして、北側のことでどういったことがいえるのか、含めて検討してお示ししていきたいと思います。
02:02:54	以上です。
02:02:56	曾田ですけどありがとうございます。いずれにしてもこここの地形面の項のところの、
02:03:03	地形編のコードについては、250 ページですかね、250 ページの
02:03:10	上の箱書きの、
02:03:12	下の方ですかね、黄色のところ。
02:03:15	かな、ここか。いえ。
02:03:18	断層と福浦を比較して、
02:03:23	なかなかその定量的なことは言えないんですけど、
02:03:26	定性的に傾向の大きな違いが見られるのかどうかというところが、ポイントになってくると思いますんで、
02:03:37	こういったところなの。
02:03:39	何ですかね、元となる客観的なデータを示していただければと思います。以上です。
02:03:52	規制庁の大井です。
02:03:54	それでは断層、大野、鉱物脈、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:03:59	のところで事実確認をさせていただきたいと思います。
02:04:06	えっとですね 262 ページをお願いいたします。
02:04:15	衛藤。
02:04:17	これは③の薄片観察の結果で、
02:04:21	この反映のところをとって、264 ページとかで
02:04:29	最新面と、光沢の関係というのは、書かれてございますが、
02:04:34	ちょっと私ちょっとですね、
02:04:37	262 ページで見ているその日と、
02:04:41	ごめんなさい、最新ゾーンの他の最新ゾーンのところに黒線が黒い黒い筋がばーっとう、
02:04:48	同じ方向に、
02:04:51	左、左下、左斜め下あたりから、下から上の方向にですねちょっと左側から右側の方に、
02:05:00	たくさん並んでますけど、こういうのは 264 ページのスケッチの中で、
02:05:06	表現されてない。
02:05:08	部分に当たるんですけど、これはまず黒い筋はどういうように本社評価されてるのかっていうことを、
02:05:18	教えていただけますでしょうか。
02:05:24	はい。北陸電力津守です。この数字ですねこういったものを他の際、それこそ敷地内ですとか断層の、この現地調査で見いただきました S7 の、
02:05:34	薄片 0、A2 等でもですね、同じようなものが見えてまして、こういったものをそのすぐ横に
02:05:44	は 0 名等もあります、ありまして、これ
02:05:49	100 円作る段階でですねそういう乾燥収縮を受けて、こういったところを剥離してというような状況にも、どうしてもなってきたりなってきたりまして、そういったところの収縮に伴う、
02:06:01	伴って生成できたこういと、
02:06:04	ですとか弱い変形構造を反映してるようなものかなというふうに考えてございます。
02:06:12	以上です。
02:06:15	5 節、規制庁の大井です。ご説明ありがとうございます。
02:06:19	黒い数字。
02:06:20	に沿って割れ目もあることから、二次的な、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:06:24	ものだったり弱い。
02:06:27	部分だということで、SKETCHにはそれは、そういう二次的なものだから載せてないという、このような理解でよろしいのでしょうか。
02:06:37	Web 電力すごいですすみませんこの手話が
02:06:42	何もないところから二次的にできたというよりは、もともと弱い変形構造等があったようなところが、その乾燥収縮によって、ちょっと目立ってきて見えているのかなというそういう解釈でございますこれが二次的にこの数字ができたという、
02:06:56	意味ではございません。
02:06:58	以上です。
02:07:00	はい。ご説明は理解しました。
02:07:04	264 ページを見ていただくと、その黒い数値がですね、瀬古
02:07:11	いわゆる最新面の
02:07:12	不連続な部分を少しかう、何かかう、
02:07:16	通ってるようにも見えるんですけど、この辺、
02:07:21	というのは
02:07:23	この解釈というのはどんな感じなんです。
02:07:31	ちょっとよく電力すごいです失礼します。ちょっと申し訳ないです私こっち勘違いしてる可能性ありまして 200、最初の大井さんのご質問なんですけど、262 ページの、
02:07:41	左の全体写真で、
02:07:43	幾つかこの直交ニコル縦に筋黒く筋のようなものが見えているこれのことをおっしゃっていた。
02:07:50	のではなくて 263 のような、
02:07:53	263 の下に写真でいうところの、
02:08:03	まず今画面共有させていただいておりますけれども、
02:08:06	大井さんが言われたこの
02:08:09	見えますかね左の全体写真でこういう黒い
02:08:13	これ空隙なんですけども、
02:08:15	これのことをおっしゃっていたのか、この福田写真でいう、こういうところに見える。
02:08:20	この黒い数字、これのことをおっしゃっていたのがまず、どちらでしょうか。すみません。すみません。規制庁の大井です。今の後者の方で右側の黒い筋のことを言っています、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:08:32	264 ページの下、その反映のところの拡大の部分も、それに、その方向です。その方向と、
02:08:40	延長するところ、延長する黒い筋、
02:08:45	黒い黒くはないですけども数字が、
02:08:48	ちょっと 264 ページ。
02:08:51	お願いできますか。
02:08:56	すいません。ありがとうございます。
02:08:58	その右下の写真でいうと
02:09:02	緑色のところ、
02:09:04	この部分に不連続面、不連続面じゃ、ごめんなさい。
02:09:10	最新面が示されていますがその不連続の部分に、この数字が、
02:09:17	通ってるように見えるんですが、それがスケッチではあまり表現されていない。
02:09:23	のについてはどのようにお考えでしょうかということです。
02:09:30	グリコ電力努めます。すいませんこのスケッチで、加筆したもので言いますと、この緑のこの間に筋が見えるというそういう、
02:09:40	施設、そういうことは石本通りでございますすいません。
02:09:45	こちらについてはですね拡大写真が次の 265 ですか、267 の方にお示ししておりますけれども、
02:09:55	やはりその例えば変形、
02:09:58	この 265 を見ていただいても、この会見写真も次のページにつけておりますけれども、こういったところにですね、
02:10:07	変形構造の最新面に沿うようなそういう変形構造が見えてるわけではありませんし、先ほど数字のようなものが見えというふうにおっしゃいましたけども、これこういうふうには拡大してみてもそういったものが、
02:10:18	見えないので若干の粘土鉱物の、
02:10:21	真水の配当りかた。
02:10:24	で、少し
02:10:26	薄いコントラストがその比木だと少し見えていたかもしれませんが、ちょっとこのように拡大した写真で、見てみましてもそういったものが見えませんが、少なくともスケッチでこういうふうには構造として書くようなものではないと。
02:10:37	評価しております。この左の谷黒田とよくわかるんですけども何もここにそういう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:10:42	そのような構造というものがないように観察できますので、気付事項には書いてございません。以上です。
02:10:51	はい、わかりました。264 ページでちょっとこちらがそう見えることについては、拡大されると拡大されたり改定されたりしてまあ、そんなのは見えないということ。
02:11:04	ちょっと2はどうなんですかね。
02:11:07	今の点数もしも266や265で、
02:11:12	説明加えるようでした。残ることが可能でしたら、箱書き等にだったり注釈等に入れていただけると助かりますが、いかがでしょうか。
02:11:26	はい。北陸電力遊佐です。はい。確かにですね、車両にちょうど大事な額の張り出しのところに数字が単ニコルの方では見えますので、
02:11:38	正のつもりが、申したように拡大して改善しても、
02:11:42	見えないということです。確かに、羽生で見えますこれもしかするとこれ全体のIS混合層なもんですから、その中での、
02:11:50	この結晶化鉱物をですね消費する時の集ゾーン、の可能性もありますので、それも今一度しっかり確認して、あの辺に記載をしたいと思えます。
02:12:00	我々としましてはいずれにしましても、そのを黒い数字の境界ですね、一番大事なところの、ここせん断構造がないという形で評価をしておりますので、やはりその辺、しっかり根拠といいますか、
02:12:13	再観察した結果を、このペーパーのどっかにおきたいと思えます。はい。以上です。
02:12:22	ご説明ありがとうございます。
02:12:32	甲斐田ですけれどもすみませんちょっともう一遍、
02:12:35	確認なんですけど、262のこの黒い筋っていうところなんですけどこの変形構造の、
02:12:44	の可能性みたいなものっていう話だったんですけど、これが要は引きずりのP面を表しているようなものっていうふうな、
02:12:54	ことでよろしいんですか。P面がそれに近いようなものっていうことで、
02:13:01	グループ電力の角です。この黒い数字がすべてそうとは思っておりませんが、やはりP面であれば抵抗性、同じようなスパイに対して斜交する向きで、幾つか同じ向きで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:13:13	縦の方にそろっているという場合はやはりピンとして見ますけれども、例えば 263 ページのこの拡大の範囲で、
02:13:22	この左上の方にありますけれども、例えばこういった黒いもので見ますと、
02:13:27	少し、そういう抵抗性を持っているというよりは、
02:13:31	間宮区のように、四方に、
02:13:34	伸びているようにも見えます。こういったようなところから、例えばこれについては P 面というふうには考えておりませんで、やはり粘土鉱物水野通り方で、同じ最新ゾーンの中でも、
02:13:46	全く綺麗に一様に見えるというわけではなくて、やはり水の取り方で、少しずつ粘土鉱物の量比が異なったりですとか、その量が少ないところがその乾燥収縮でちょっと、
02:13:56	こういうふうが目立って見るとそういうことも考えられますので、必ずしも全部が P 面ですとか、そういうものと考えているわけではございません。以上です。
02:14:04	甲斐田ですわかりました。であれば先ほどもそういった説明だったので、付け加えていただきたいのと、一番ちょっとその黒い筋の着目して、
02:14:16	いろいろその背景っていうのは 263 ページの上の写真とかですかね。
02:14:24	真ん中の上ですか、黒い数字が 1、最新ゾーンという中に入っていると、もしこれが P 面、
02:14:34	ざっとする。
02:14:35	とかそういったもんだとすると、
02:14:38	やっぱ最新面のちょうど真ん中を突っ切って、右、左下から、右上に向かって同じように並行する、黒っぽいこういった、
02:14:49	筋というか影みたいなものが、
02:14:52	いってるようにもちょっと見え、一見すると見えます。そうすると最新面のところも含めて、そういったせん断変形をしてるんじゃないかなっていうところが、
02:15:04	少し気になって先ほど来、確認をさせていただいてるんですけども。
02:15:10	ここら辺のその君。
02:15:16	例えば 267 ページの右左下の写真とかも、最新面を

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:15:24	変更すっきりようにそういった黒い筋みたいなものがあるってこれがもし P 面なら、これはここを含めて動いてるようにも見えるんだけどどうか なというところも、
02:15:35	あったんですが、
02:15:37	例えば 263 ページの
02:15:40	真ん中の上の写真とかのこの黒いのが、行為、
02:15:44	斜め下からの上に行っているのは、
02:15:47	これ P 面とかじゃないっていうんならちゃんと、その辺のところも含め て説明をお願いしたいんですけども、ちょっと趣旨等がつく伝わった でしょうか。すみません。
02:16:00	北陸電力津守です。はい苅谷さんおっしゃること趣旨理解しまして、ま ず、
02:16:05	すみません私先ほど説明少し誤解あったかもしれないですが、この 263 ページ、今、共有させていただいてますが、こういった黒い筋、これは
02:16:13	先ほどご説明しましたけど手法に網目状に行ってるってことですかと か、粘土鉱物の良否を反映したような、そういったものだと考えており まして P 面と考えておりません。
02:16:24	で、それをきちんと明記をさせていただきますし、267 ページ、ちょっ と共有させていただきますけれども、
02:16:36	はい。これの左下のこの、
02:16:39	単にこの行為ったところが例えば引きで見ると少し数字よりも見えた と思うんですけども、これを今このように拡大してみますと、
02:16:49	特に戦場のような形で、配列が見れるわけでもありませんし、
02:16:55	こういうところでもですね、非常に不足、
02:16:58	水野通り方でその粘土鉱物がまばらにできたというようなふうに観察し ておりますし、これちょっと次のページ回転写真つけておりますのでこ ちらも見ていただきたいんですけども、直交ニコルで見ましても、そ ういったところが、例えば回転してみても、
02:17:11	光るような、そこの部分が際立って光るような、とか行く度というもの ありませんし、これはやはり P 面等の複合面構造ではないというふうに 評価しております。なので、こういったところの、
02:17:22	見える部分ですとか、先ほど 263 ページの左上の、ああいったところの 観察結果につきましても少し丁寧に記載させていただきたいと思いま す。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:17:33	はいはい甲斐です。そうですね
02:17:37	写真で見る限りだとやっぱり 262 とか 263 の
02:17:43	－最新面に沿って、この近くにあるような黒い数字っていうのは、
02:17:47	引きずり構造、P 面見込んだ、何か抵抗性があるかないかっていうと、 やっぱり同じような方向に
02:17:56	IVピピピッとあって、
02:17:59	P 面じゃないのかなというふうにも見えたりもしますので、そのあたり、
02:18:05	もう少し記載等を充実していただいてそうじゃないっていうんであれあれば そういった何か、記載を充実して記載お願いしたいと思いますので、 よろしくをお願いします。
02:18:21	承知いたしました。
02:19:05	規制庁の大井です。
02:19:07	それではですね引き続き④の薄片になりますが、
02:19:11	271 ページをお願いいたします。
02:19:21	これって、とですね。
02:19:25	下の薄片写真版へのですね、薄片写真のところこれの方ですが、
02:19:33	このスケッチでいう、
02:19:36	違いますね。
02:19:38	最新面がありまして、
02:19:42	何て言うんすかね。
02:19:45	今、写真出していただけてますけど、
02:19:49	何ていうか、
02:19:51	この右、最新面から、右下に
02:20:01	ちょっと待ってくださいね。
02:20:09	不連続面、
02:20:12	があってですね、不連続面の地下不連続面の方向、
02:20:17	最初の最新面と不連続面が設置しているというような方向に、
02:20:22	幾つか同じような方向に、
02:20:29	なんていう数字が見える数字というか
02:20:35	割れ目ですかねが見えるんですけど、
02:20:38	とですね、ここ左上から右下に向かって、
02:20:45	幾つか見えるんですがその方向にですね、同じような、
02:20:50	これは

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:20:53	RONE 面、
02:20:55	な可能性っていうのは、
02:20:58	要するにせん断面を追ってるような可能性っていうのは、あるん。
02:21:02	かどうかっていうのを考えについて、
02:21:05	確認させてください。
02:21:11	はい。北陸電力津守です。今大井さんおっしゃられているのは、
02:21:17	今ここが、その最終面を横断する箇所、
02:21:20	もうこの年度になりますけども、
02:21:22	こういった、
02:21:23	この白い
02:21:25	こういった年度のところがある可能性がないのかとそういうご指摘でよろしいでしょう。はい。それとその上の方にも、同じように何か白い同じ方向をですね。
02:21:36	ちっちゃいんす。薄井ですけど。
02:21:39	あるように見えるんですが、
02:21:42	そうですねその辺りと、
02:21:46	それがある場面ではないでしょうかっていうことの、
02:21:50	考察をちょっと教えていただきたい。
02:21:55	はい。北陸電力津守です。まずその 272 ページちょっと今画面共有させていただきますが、ここは脈と評価しているところの拡大になりまして、
02:22:05	ここは先ほどちょっと比木だと少しそのスケール感でわかりづらかったかもしれませんがこの最新面に対して、
02:22:11	この横断する場所、ここが、
02:22:14	ここにも構造がそこまではっきり見えてきていた最新面というのが、この粘土鉱物で、不連続になっているという状況がわかりますで、この粘土鉱物等こちらの割れ目沿いの粘土鉱物というのが、
02:22:25	続いて分布していきます。
02:22:28	これはシャープな、要は、ある場面であれば、やはり微細な、
02:22:34	せん断せん断面とか
02:22:37	そうですね微細なせん断構造である版ができますので、そういったものであれば、やはりある程度シャープな所見的な構造というのが見えてくるんですけども、ここはまさにですねこの割れ目が、
02:22:49	このように、弯曲するような形で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:22:53	伝播しているところに、その粘土鉱物が埋めていると、そういう状況が拡大して確認できます。
02:22:58	一つ前の 271 ページに戻っていただきまして、
02:23:05	南です。
02:23:08	いただきますちょっとこの下のところにこれ拡大しますけれども、
02:23:17	はい。先ほどの拡大して見ていただいたのがこの場所にありまして、このその割れ目沿いの粘土鉱物というものと、こういう、ここもですね、同じように粘土鉱物、ここから途切れることなく繋がって、
02:23:28	粘土鉱物がこの割れ目に充電するような状況が確認できます。
02:23:33	すいません。上といったところはちょっと私ください。どこかわからなかったんですけども、今のここと同じような形ですね、
02:23:40	規制庁の大井ですけど、そこですねそれ、それも同じ方がその方向に同じような方向に、
02:23:49	白い年度ですかね、があるのですが、
02:23:54	なんすかね未済な。
02:23:56	何、
02:23:59	どのような、同じ方向にこうなんか並んでるような感じなので、
02:24:04	それはある雨じゃないんでしょうかっていうことですけど。
02:24:09	どうでしょうか。
02:24:10	衛藤。
02:24:12	これが丸栄と考えておりませんで、この
02:24:17	この右の方にここを今度逆に抵抗性がないように、分布するこの割れ目と同じようなものが製品だと考えておりまして、
02:24:23	いずれそこの中をですねしっかり粘土が埋めて分布しているということで、この割れ目の成因ある面とは考えておりませんが、そういったちょっと応力解放等で割れたところの間を、
02:24:34	埋めるような形で、こういった粘土鉱物部分として最新面を横断していると。
02:24:39	そういうのを確認できますので、
02:24:41	今年度鉱物ができて以降の最新面が動いていないと、仮にこれがまずできた後にある場面で活動したのであれば、やはりこの粘土鉱物、
02:24:50	がですね、もう少し

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:24:54	ここに粘土鉱物の中にもう少し構造引きずりのような構造が見えるだろうというふうに考えられますので、少なくともこの粘土鉱物が割れ目を充填してからの、
02:25:03	この割れ目沿いに動いたような痕跡もないというふうに考えてございます。以上です。
02:25:09	はい。規制庁の大井です。ご説明ありがとうございます。
02:25:13	はい。応力解放等でできたものに、年度は入り込んだってというような説明で理解しました。
02:25:21	私の方から、これに関しては以上ですが、
02:25:27	甲斐田ですけど、今のところも一緒にさっきと一緒にして、複合面構造のように見るとさっきん特に平行し変形みたいなようなところは、
02:25:37	RI面の、今名残じゃないかとか何かそういったふうにも見えたりするので、そういった複合面構造みたいなのは、ここに、
02:25:48	ないんだというような説明等はちょっと、
02:25:51	また追加等をお願いしますけど、よろしいですか。
02:25:57	という電力津守です。はい承知いたしました。やはりここそのうちそのブロック状にというところで、
02:26:03	あれは確かにいますけれどもこれパチッとはまるような形で、元に戻せますし、やはりせん断変形等受けたのであれば、もう少しこの形状がです、浅井されているですとか、
02:26:13	もう少し
02:26:14	は、不値が削られて元に戻すと、久我空間があいてしまうとかいろいろそういった観点でも、ある場面構造とは違うというふうに評価しておりますのでこのあたり考えがわかるように、記載させていただきます。以上です。
02:26:29	はい。はい甲斐田ですじゃよろしくお願いします。
02:26:34	ちょっとそれに関連してなんですけど、
02:26:37	そうするとこの断層が
02:26:41	逆断層だっていうのは、
02:26:43	どう、どういうふうに判断してんとしたんでしたっけこの資料でちょっと、今みたいところに複合面構造がないんだとすると、
02:26:52	その辺の情報っていうのは、どこにあってどういうふうに判断したのかちょっとちょっとすいません今ぱっと思いついてず、探せなかったんですけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:27:01	ちょっとそのセンスをどういうふうを確認したかっていうのももう一度確認しておきたいんですけどもよろしいですか。
02:27:12	はい北陸電力角です。
02:27:15	いや、そうですね拡大写真で言いますと、
02:27:22	ただ 293 ページお願いします。
02:27:31	293 ページの
02:27:34	薄片プラグを OS8 行で確認した性状の観察結果になっておりまして、コピー面ある場面と書いてますけれども、例えばここで RONE。
02:27:45	を引いてます。
02:27:48	真ん中の範囲への写真の、RONE が二つ、2 ヶ所、左と右に書いてますけれども、この例えば右側見ていただきますと非常にわかりやすいんですが、
02:27:59	ここですと、この歴がですね上と下にれきといいますか、劣化は旧古井ちょっと変質する前はれきだったものが、
02:28:08	ここのファイル版と引いているところですね、まさにこの
02:28:12	この微細な割れ目で食い違うような形になって、こここういうところから、その変形構造を呼んでおります。
02:28:20	このようにですねやはりこのオフセットがある場合は非常にわかりやすいんですけども、
02:28:24	先ほどのようなものと、
02:28:30	ここで一つまで例えば先ほど後パチッとパズル上のようにはまるというふうに、
02:28:35	丸野であるんじゃないというような話もしましたけれども、ここの R& 読んてるような場合ですと、それがやはり引きずられてる、そういう品が伴ったりですとか、やはりある盤というとなかなかその複合面というだけあってその P 面と、
02:28:48	ちょっとねそのオフセットのような形で見えたりというものが多くありますし、この同じ断層後でも、こういったところが見えていますので、
02:28:56	こういったものをある場面というふうに、複合面構造と評価しておりますけれども、先ほど S7 孔の
02:29:03	夜久野近くにあったところは、形状からはあるバンドは考えていないと、そういうふうに差別化をしております。以上です。
02:29:13	甲斐田ですが、わかりましたじゃこの 293 ページの

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:29:17	わかりやすいんですけど、これは最新面から離れたところの部分で判断されているというそういったところかなと思います。わかりました。確認できました。
02:29:35	規制庁の大井です。今断層に関しては、
02:29:39	その他、何かございますでしょうか。
02:29:48	甲斐田ですけれども、
02:29:51	引き続いて断層で、
02:29:54	300、
02:29:57	5 ページを、
02:30:01	お願いします。305 ページで
02:30:05	これちょっとこの下に表があるんですけどこの表の、
02:30:10	記載について確認したいんですけど。
02:30:14	断層のあったところで、断層をに対応しないと判断した根拠として、
02:30:21	これ、いろいろ書いてます。
02:30:24	この中で、断層と性状とかが異なりますよ。
02:30:29	ていうのが書いてあって、
02:30:32	その中の一部だけは
02:30:35	隣接校にも連続しないっていう検討結果が書かれてて、
02:30:40	その隣接校への連続性があるなみたいなところが書いてあるのと書いてないのがあるんですけど、例えば3号とかは、
02:30:49	断層とは異なるっていうだけで終わってて、この
02:30:54	何て言いますか、違いは何なんですかねこ 3C5 は、
02:30:58	繋がるというようなものが、
02:31:01	相方がどっかにあるっていうことなんでしょうか。
02:31:05	お願いします。
02:31:07	はい。北陸電力津守です。この34号以外のですねこの連続性確認しているものにつきましては、
02:31:15	この右のシュミットネットのを見ていただくと、
02:31:19	02 ですとか、
02:31:22	0607 というのが、この黄色のそ高 $\pm 30^\circ$ 傾斜 ± 15 度がこの黄色の範囲になりますけれども、ここからは外れているとはいえ、
02:31:34	数度程度の
02:31:38	離隔といたしますかそれと程度の違いで、異なるというふうに見ている場所でございます。秋谷に野中が

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:31:46	保守的にみて走向傾斜が幾つ以内だということで見ているんですけども、やはりここに近いというものにつきましては、さらに連続性についても確認しようということで、さらに安全側を見て、そういう連続性を追っているものでございます。
02:32:00	一方今ほどの
02:32:02	345 につきましては、
02:32:06	今ほどの 2 とか、六、七と比べますと、やはり 10 度以上、
02:32:10	リレーション±30° ±傾斜 15 度というより、ところよりもさらに 10 度以上離れているという総合傾斜が異なっているという、
02:32:20	こともございますので、明らかにその走向傾斜の観点から違うものだというものが、
02:32:27	確からしくいえるだろうというところで、
02:32:29	連続性の検討までは、この資料化していないということでございます。以上です。
02:32:37	甲斐ですが、わかりました。
02:32:39	そういう差別化ですね。
02:32:42	そんな 127 とか 8 にも似たような図があってこれは
02:32:49	今の他の、今までに掘った既往のこうなんですけれども、これも同じような、
02:32:59	仕分けで書かれてるっていうことで、
02:33:03	いいんですかね走向傾斜。
02:33:06	が異なるとかっていうので終わってるだけの、福浦とは違うっていうのだけで終わってるのと、
02:33:13	隣接校への連続がないとかっていうのが、
02:33:17	二通りあるんですけども、
02:33:19	これも同じような考えで仕分けがされてるんですか。
02:33:28	はい。北陸電力津守です。福田断層の方での検討につきましては 127 ページを見ていただきたいんですけども、
02:33:36	127 ページの、
02:33:39	左上の方に勝が三つ書いてありまして、
02:33:42	その上のうちのふたポツ目。
02:33:45	これ断層と走向傾斜が対応しない破碎部のうち、未固結破碎部を伴うものについても連続性の検討を行ったと。
02:33:52	福良断層については正常、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:33:55	未固結な細胞を伴うというところが福田断層の特徴になりますので、そういった点で類似するものについては、すべて安全側を見て、ちゃんと走向傾斜も、失礼しました、連続性についても確認していると。
02:34:07	いう整理をしてございます。
02:34:10	以上です。
02:34:13	はいわかりました宗福浦はそうだといいことですねはい。
02:34:18	あとすいません 305 ページにまた戻って、
02:34:23	これ今 S5.5 ここに表とかプロットされ、
02:34:30	グラフにもプロットされてるんですけど、
02:34:33	5.5 以外の S5 から 8 ていうのは、
02:34:39	こういった図ってというのは
02:34:42	同じように整理されてるんですけど。ちょっとそこら辺も、
02:34:46	資料からすぐには探せなかったんですけどもこれ、いかがですか。
02:34:56	クリック電力つもりです。5678 ですとか 6.5 につきましては、その他の破砕部は、福江断層をと、
02:35:07	断層が非常に明瞭にわかるということと、その付近にですね、走向傾斜が調和的な副断層と副次的な断層と思われるバス、副次的な破砕部と思われる。
02:35:18	物が分布しているというところで、これについてはこういった趣味ねシュミットネットの資料というのをつけておりません。この S5.5 の南端を S ですとか、S9、
02:35:29	北端になりますけれども、こういった端部のものにつきましては、やはりそういう福井断層が見つからないということと、そういう副次的なものでもないというところをしっかりと端部として確認するために今回このようなシュミットネットの
02:35:42	検討結果、連続性の検討結果をつけさせていただいております。以上です。
02:35:50	甲斐田ですがわかりました。端部の SQ だから、3298 と。
02:35:57	305 についてつけてるというそういう位置付けなんですね。
02:36:03	主要わかりました。
02:36:07	あとすいませんちょっと、
02:36:09	304 ページをお願いします。
02:36:13	これ
02:36:15	破砕部 5.5 項に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:36:18	うんなかったんだっていうところのご説明でコア写真ついてるんですけども、
02:36:26	これ
02:36:29	このポーホールのデータが補足じゃない、データ集かな、データ集にあつて、
02:36:36	ちょっと特にこの④と⑤っていうのはどういうふうに走向傾斜読んだのかっていうのを、
02:36:42	を確認したかったんですけども、1-2の600ページですか。
02:36:48	データ集1-2-600ページで、
02:36:53	④⑤っていうのは走向傾斜が違う、性状もですけど、
02:36:59	走向傾斜が違うという説明で、
02:37:03	1-2-600の特に、
02:37:08	4と5ってこれ穴があいてて、何かなかなかここでちゃんとした割れ目ないようなところで、
02:37:17	閉4であるようんにも思うんですけど。
02:37:21	これは
02:37:23	大丈夫なのかなっていうところを確認したかったんですけども、ここ、
02:37:29	この1-2の600ページの、
02:37:31	4と5の割れ目っていうのはこれ
02:37:34	どういうふうに読んでこういうふうになったのかっていうのをちょっと御確保、説明をお願いしたいんですけども。
02:37:42	北陸電力津守です。
02:37:44	補データ集の1-2の600ページの45メートル付近が、④、
02:37:50	46メートル付近のものが⑤になりますけれども、まず④につきましては、このあたり非常に孔壁崩壊、進んでますし、
02:38:00	セメンテーション等も行ってきポーリングしたということをやっていますので非常にちょっと見づらい形にはなっておりますけれども、④につきましては、
02:38:11	来系ですねまさにこの崩れているところが、面に沿って崩れているというこの破碎部の対応も、周囲の利益との関係というところも見た上で、
02:38:21	断層面に沿って崩れているというふうに考えられますし、このポーホール交易の写真見ましても、このような外径が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:38:30	終えますので、凸の位置ですとか、そういうところも含めてこの④の面を追っております。⑤につきましては、セメンテーションで上の方、45.8あたりちょっとわかりづらくなってるんですけども、
02:38:43	46メートルこの1-2-601ページの左上のところ、
02:38:49	特に充電してみてもありますが、ここはですね、そういう、
02:38:54	公益が
02:38:55	越冬の形がですね、そのセメンテーションした上でも、ある程度明瞭に残っているところになりまして、ここでサインカーブを、
02:39:04	の凸の部分をですね、ここに当ててやって、そこから
02:39:08	社員カードを書いてあるという書き方で、走向傾斜、とらえております。これについても全体としては、セメンテーションわかりづらくなってる場所あるんですけども、このようにしっかりと
02:39:19	カーブの形を得るところございますので、こういったところから、伸ばして、走向傾斜、確認しているとそういった、
02:39:26	形でやってございます。以上です。
02:39:30	はい会ですね。
02:39:33	機能2-601ページの、そのちょびっとこう見えているこの、
02:39:38	部分ですかね。
02:39:40	ここで、
02:39:43	それを使ってサインカーブを変えて今やったという、ちょっとそうですねここ穴が開いてるんで、
02:39:53	結構この走向傾斜、うん。
02:39:56	が同じか違うかで特に⑤破碎部なんて、性状が違くと書いてはありますけれども、305ページで、粘土状破碎部とかそういうのもあるんで、
02:40:07	この辺の読み方次第で、
02:40:09	走向傾斜の、
02:40:13	読み方次第ではひょっとしたら入ってくるかなというのもあったんでちょっと。
02:40:17	確認をさしていただきました。
02:40:20	わかりました一応どういうふうにしたかかっていうところは今、
02:40:26	確認できましたのではいはい、ありがとうございます。
02:40:30	北陸電力木村です。すいませんちょっと今のポアホールの中で、補足いたしますけども、確かにこの場掘野画像を少し
02:40:40	交易の公開等で見づらい状況にはなっているんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:40:46	今ほど鷺見が説明した、
02:40:49	手がかりで、
02:40:51	走向傾斜読み取っておりますけども、その読み取った数字を見ると、断層の走向とほぼ直交するといえますか、もう、
02:41:01	全く異なる走向となっておりますので、
02:41:06	画像の精度としては、
02:41:09	そんなにかもしいないんですけども、断層の走向とは、
02:41:14	異なるということはしっかりいえるというふうに考えておりますので、
02:41:18	そういったことで、断層ではないというふうに評価しております。以上です。
02:41:24	はい。他の会社ですわかりました大分、
02:41:29	わからないながらも読み取った数字っていうのは大分
02:41:34	違うというところですねはい。
02:41:37	とは言うその点はい、わかりました。
02:42:16	野田ですけど。
02:42:18	すみません 4 時すまっちゃってるんですけど我々大丈夫なんですけど御社の方も実施もし、時間許すようであれば、あと 10 分ぐらい、ダンス断層、福浦のところで、
02:42:29	事実確認させていただければと思うんですけどいかがでしょうか。
02:42:34	北陸電力藤田です。弊社の方は、時間大丈夫なので、
02:42:40	とことん確認いただければ助かります。
02:42:43	野田ですけど、藤田さんありがとうございます。4 時半までには終わらせようと思っておりますすみません。もう少し事実確認させていただければと思います。ありがとうございます。
02:42:54	お願いします。
02:42:55	すみません。規制庁の大井です。42 ページをお願いいたします。
02:43:01	こちらナンバー41 コメントの現地調査におけるルートマップの記載の充実についてなんですが、福浦断層、えっとですね大坪が右岸、
02:43:11	沖田道路ですね。
02:43:12	そこでこれ 42 ページのちょっと図の適正化なんですけど、
02:43:17	42 ページの福良断層の箇所っていうのは、44 ページ。
02:43:25	どっかで福田断層というふうにかかれてるものを照らして言うんですけど、ここでわかるんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:43:33	わかるのですね。それとあともう一つ左が福田断層の左側の N28 度 W のいわゆる副次的な断層と、
02:43:42	これについても 42 ページの段階では、箱書きで書いてあるものですね ちょっと図の中でどこが福田断層でところがその副次的な断層なのかってのが、
02:43:52	ちょっとわかりづらいので、それについては、
02:43:55	42 ページでもちょっとわかるようにしていただきたいということ。
02:44:00	と、あとですね、43 以降なんですがこの 4、
02:44:06	実際そのこの 43 以降の確認箇所っていうのが、この 42 ページのルートマップ上のどこなのかっていうのがぱっと一目でわからないので、
02:44:16	わかりづらいところがあるので 43 以降もルートマップをですね、
02:44:20	つけていただくことは、コア定期つけていただいてどの場所を見ているのかっていうことを、
02:44:28	わかりやすくしていただけると助かります。
02:44:31	もう 1 点ですけど、これはちょっと質問ですが 46 ページをお願いいたします。
02:44:37	これいわゆる副次的断層。
02:44:39	破碎の程度が弱いっていうことの根拠ですけど、下の方に上部では部分的に平面の
02:44:47	面構造が認められるか下部では、
02:44:49	平滑な平滑化平滑な面構造が認められないとか条線鏡肌認め、認められないと書かれてますけど、すいませんがちょっと写真のどこのことを、
02:44:58	それを判断できるのかなっていうのをちょっと今を教えていただけますでしょうか。
02:45:05	北陸電力の小橋です。まず図の適正化の件ですね 2 点コメントいただきまして、そちらのつきましては了解いたしました。で、3 点目の、今のコメントですが、
02:45:19	46 ページの左下の拡大写真 2 の解釈線、過失の方で、せん断面というものが開発してございまして、ここで、
02:45:29	赤色で実線で書いてありますところですね、ここにつきましては、比較的、
02:45:37	図面構造が、
02:45:38	はっきり平滑な面構造が認められると、一方で、
02:45:43	今ちょっと画面の方で出しておりますが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:45:46	下の、
02:45:47	右側の下の写真ですね。
02:45:49	赤点線のところに行きますと、白色部が高流動してるような構造から破砕部は読めるのですが、平滑な面構造という点では、
02:46:00	非常に認められなくなるということで、この赤線の書き方で、
02:46:08	示しております。その辺ちょっとわかるように記載したいと思います。以上です。はいわかりました%点線はその違いを示している。
02:46:18	その場所が上の、補助線がないところ。
02:46:21	いるとそれぞれの構造が見えるよということで、
02:46:25	理解いたしました。ありがとうございます。
02:46:29	続きまして 107、今の副次的断層に関わることなんですけど 107 ページで、福浦断層南部の検討フロー、あかん認定の考え方ですね。
02:46:40	それをほぼ
02:46:43	大坪が以北で確認された特徴を使って①から、
02:46:48	③までフローとされてますけどこの副次的断層をこれに当てはめると、
02:46:55	どこで、まずそもそもこれ全部イエスになるのか、それともどっかで、
02:47:00	ノーになって、
02:47:01	ちょっとその辺をどういう位置付けに、
02:47:05	副次的な今回見つけた副次的断層は、
02:47:08	当たるのかっていうのを教えていただけますでしょうか。
02:47:14	北陸銀行の小林です。衛藤。
02:47:17	まずですね
02:47:19	7 ページの認定の考え方といいますのは、普通断層南部のリニアメント変動地形が、
02:47:28	認められなくなる期区間でどう、断層、
02:47:33	フランスを追跡していくかと、というような、
02:47:36	考え方になりまして、ちょっと浦喜多道路の方は、
02:47:41	そこでちょっと池が違うということになっております。で、
02:47:45	その上で、こちらのフローに対し合わせて考えますと、まず走向傾斜が、
02:47:54	比較的効果的であって、
02:47:59	個別な配分を伴うということになっております。
02:48:03	ただし、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:48:05	こちらのフローというよりは先ほどの露頭の方で、すぐ横に福浦断層本体がございまして、そちらの方は、BC と、
02:48:15	平滑な面が、
02:48:17	続いていると。
02:48:19	資料で言いますと、43 ページの方で、どうぞ。
02:48:23	写真とスケッチを示しておりますが、
02:48:26	こちらで、
02:48:28	せん断面が明瞭に続いているという特徴がございます。
02:48:33	それに比べまして、
02:48:36	副次的な断層と言っておりますのは、
02:48:41	せん断面が不明瞭になったりということで、破碎の程度は弱くなると、 いうことで、そういった特徴を持って副次的な断層と評価しているとい うことになります。
02:48:54	説明は以上になります。
02:48:57	規制庁の大井です。107 ページのフローに当てはめ、当てはないんです けど
02:49:05	少し丸さんの辺りの検討では、三角ぐらいになって副次的断層というふ うな、そういう扱いということ。
02:49:14	での理解でよろしいでしょうか。
02:49:18	北陸電力の小林です。ちょっと丸さんとはまた違った考え方をしており まして、こちら、107 ページの方は、あくまで南部の追跡における、
02:49:30	考え方でございまして、今の
02:49:33	ダムが来た道路の方の考え方としましては、連続性というよりは、この 浅井の
02:49:41	強さの違いに、
02:49:42	福浦本体だけが2件あると、いうことをもって、副次的なものという評 価をしているという位置付けになります。
02:49:51	以上です。
02:49:52	はい。理解いたしました。ありがとうございます。
02:49:56	あとちょっと掲載体裁の話になりますが、すみません13 ページちょっ とお戻りいただけますでしょうか。
02:50:05	これちょっと
02:50:09	記載の充実の一つですけど、これ凡例の色と、この木曾例えばですね

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:50:21	あそこして今回って、13 ページの下の、今回のルートマップの方ですけど、
02:50:26	左側の方に安山岩角れき質っていうふうなものあって、
02:50:31	案の色はちょっと凡例を見ると少しこういうような色になってるんですが何かで、この道路の右側は均質になってるんですけどちょっと濃い色の違いがこの
02:50:44	よくわからないのと凡例の色と少し合ってるのかなということで、少しご確認いただければと思います。で行った方をちょっと、
02:50:53	42 ページ。
02:50:58	これ本当に、ただ単に印刷の違いなのかもしれませんが、
02:51:02	ちょっとですねこれ凡例の色が隠れ基質は少しまた紫色っぽくなって、
02:51:09	さっきの先ほどの13 ページの各歴史の色とちょっと違うんですが、この辺も、ちょっと色合いがわかりづらい点だったり、統一が図れているのかなっていうことの点について、
02:51:21	少し、
02:51:22	ご確認いただいて次回資料にも反映させていただきたいと思いますが、何か私の勘違いだったら、
02:51:30	補足説明いただけますでしょうか。
02:51:36	北陸電力の小林です。ちょっとおっしゃるように、凡例の色をですね、場所によって少し合っていないという部分がありますので、
02:51:47	見直して、統一化を図りたいと思います。以上です。
02:51:54	はい。規制庁の大井です。よろしくお願いいたします。
02:51:59	す。
02:52:11	100、すいません。引き続き、規制庁が多いですけど122 ページをお願いいたします。
02:52:17	これはコメント No. 44 の41 か、これも41 の回答ですが、
02:52:24	えっとですね。
02:52:26	ルートマップIのところ、おそらく現地で現地調査以降ですね追加掘削範囲っていうのが、この紫の枠でされて
02:52:38	片側で見た、
02:52:40	断層と断層、
02:52:43	破碎は碎波臍帯が繋がるということ。
02:52:46	あと補足にも詳細な情報が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:52:50	あるのは、補足 2-1、2-1 の
02:52:54	214 ページだったり 17 ページ 117 ページにあることは確認は取れているんですが、このちょっと繋がるかまずこの紫色の区間のスケッチがですねちょっと見当たらなかったんですが、
02:53:06	これ、どこかに、
02:53:09	ある、ありますでしょうか。
02:53:13	Web 電力つもりです。そちらの再掲と追加掘削管全景写真はつけておりますけれども、スケッチ加筆スケッチの方、今資料付けてついておりませんので、
02:53:25	こちら資料につけてお示ししたいと思います。以上です。
02:53:30	はい。規制庁の大井です。これ観点、趣旨としては、これ繋がる。
02:53:35	どう見れば繋がるというふうにわかるのかなというのがちょっとなかなか、
02:53:39	資料だけですとわかんなかったことから、求めているものでございます。
02:54:12	はい。
02:54:12	それではですね審査側から確認したい内容というのは、以上となりますが、
02:54:20	その他ございますでしょうか。
02:54:24	野田ですけど、私がちょっと、全体資料全体のことで手短に 2 点。
02:54:29	1 点目は、衛藤断層の評価方針。
02:54:34	前回の会合で、前回前々回で議論したんですけど、ちょっとその辺からの流れがわかりづらくなっていて例えば 3 ページ、初めの特化はじめにのところで、
02:54:47	二つ目の丸、データ拡充を行ったけど、多分、その方針に沿って、
02:54:53	てことですよね。
02:54:55	前回前々回の、
02:54:57	議論した評価方針について説明を行いその方針に沿ってデータ拡充を行った。
02:55:03	あとは、それを踏まえて多分、
02:55:07	次回の審査会合での論点は、
02:55:10	断層をですよね。従って、
02:55:14	三つ目の丸のところは、敷地近傍の断層評価の前が多分断層を、
02:55:21	を含めとか断層法等、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:55:24	敷地近傍の断層の評価に関するコメント回答という断層をというところをちょっとフォーカスする。
02:55:31	していただければと思います。
02:55:34	あとは、5 ページ目のところで、コメント回答、これ未回答分ということなんで、多分抜けてるんだと思うんですけど、さっきと同じ観点で、ナンバー45 とかナンバー47、
02:55:46	これ評価方針に関わるところなんですけど、一応今回それを踏まえて、資料作られていると思いますんで、ちょっと 45 と 47 を加えていただきたいのと、
02:55:58	あとは、どこだったっけな、15 ページ。
02:56:03	ここも、断層の活動性評価で、コメントがないんで、いきなり回答の概要から入ってしまっているんですけど、おそらく、
02:56:13	第 1105 回審査会合において説明した活動性評価方針に沿ってとか、そういうことじゃないかなと思いますんで、少し前回前々回の審査会合を受けて、
02:56:26	断層かな、前回前々回に議論した評価方針に沿って、断層の活動性評価の検討を行っているところがわかるように、
02:56:37	していただければと思うんですけどまずこの点いかがでしょうか。
02:56:58	規制庁野田ですけど。
02:57:00	聞こえてますでしょうか。
02:57:02	すいません。マイク入ってなかったです。
02:57:08	等、今野田さんおっしゃったように、我々敷地近傍の評価につきましては、
02:57:15	断層の評価方針の説明してそれに基づいてデータ拡充やり、こういった所にまとめてますんでその経緯がわかるようにしっかり記載、追記したいと思いますんで、よろしくお願いします。
02:57:26	ありがとうございます。野田ですけど、あともう 1 点は、また 3 ページに戻っていただいて、はじめにのところで、データ拡充を行ったって書かれてるんですよ。
02:57:37	今回、当間まとめ資料の中にコメント回答溶け込ますやつやっているの、なかなかそのデータ拡充、
02:57:46	何をやったかっていうのがわかんなくなっのうんちかな、全データ各自の全体像がわかんなくなってるんですよ。ここはおそらく御社いつもつけてもらっていて非常に我々も理解しやすく助かってんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:57:59	9 ページ以降のコメント該当の概要。
02:58:04	であるとか、あとはここにコメント回答の概要ました。6 ページか、六、七ページのコメント回答の概要であるとか、あとは9 ページ以降の、各コメントの、
02:58:15	不内容も含めた概要ですね、これでわかるんですけど、
02:58:21	データ拡充。
02:58:22	全体として何をやったかっていうのがちょっとわかりづらくなっていて、特に今回断層については、段丘面調査をやったというところが多分大きなポイントだと思っています。
02:58:35	従って、例えばなんですけど、前回、江藤、12月23日の資料の、どこだったっけな。20、
02:58:47	後で見ただけならばと思うんですけど、例えば27ページここに断層を周辺の段丘面調査っていうことで、短期便調査がわかるような1枚。
02:58:58	ペーパーが1枚紙があたりしたりですね、あとは少し8ページのところとかも、確かにコメント回答と対応して、例えば左上の方ですと、
02:59:09	(4) のところでルートマップの記載の充実と書かれてるんですけど、具体的にそのデータ拡充の全体像を分かるようなものを入れていただけると、
02:59:20	はじめにというところのデータ拡充から、じゃあデータ拡充全体像どうなのか、このものっていうのがおそらく9ページ以降からこうずらずらっと並んでると。
02:59:30	というような流れの方が、我々はいいんですけど、
02:59:39	これまで、
02:59:41	ずっとこの御社の近傍を追ってない人とかでも理解できるのかなと思うんですけど、理解しやすくなると思うんですが、この点いかがでしょうか。
02:59:52	北陸電力藤田です。方針を説明した時にどういったことをやるかっていうのを説明してますんで、そういった内容を網羅するようにどういうことやったかっていうのを一覧表なり図面で、
03:00:02	地形面なり脈なり、米のボーリングなり、どういうデータが取れたかというちょっと全体をわかるようなもう整理しますんで、追加したいと思います。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:00:12	野田ですけどありがとうございます。そうですね。確かに鉱物脈、もうデータ拡充のこの五つ一つですね、一応そうですね。そうですね後は確かにとめのボーリングとかも、
03:00:22	確かにそうですね。そうですねいずれもそういうことがわかる。
03:00:27	1枚1枚でいいと思うんですよね。ものがあると、大変助かります。
03:00:34	はい。私から以上でございますけどすみません長時間にわたってありがとうございます。星さん何かありますか。
03:00:43	いや、弊社の方は特にはないんですけども、我々のちょっと資料作りで、やはり記載が不足してる部分とかですね、地形面とかちょっとわかりにくい整理の仕方もあったと思うのでそこはしっかりわかりやすいという観点で、
03:00:57	再度資料見直したいと思いますんで、改めて確認をお願いしたいと思います。以上です。
03:01:04	はい。規制庁の大井です。あと1点だけ誤記なんですけど、219ページの、
03:01:10	右下の注釈漢字の間違いですけど、最もっていうところが、何か間違ってますので、その辺、
03:01:18	修正をお願いいたします。
03:01:21	はい。
03:01:22	右下の鉱物脈による評価において、断層の中で最新面と云々というところの最も明確であると評価したデータっていうところ。
03:01:35	の管理。
03:01:37	が間違ってると思いますが、
03:01:40	松下です。はい。すみません。ありがとうございますお願いいたします。適切に修正いたします。はい。よろしくお願いいたします。
03:01:48	はい。長くなりましたが
03:01:51	こちらから確認したことは以上ですので、
03:01:54	本日のヒアリングは終了したいと思いますお疲れ様でした。
03:01:59	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。